

このたびは、MP9000をお買い求め頂き、ありがとうございます。  
本機の性能を十分に発揮していただくために、必ず本取扱説明書をよくお読み下さい。また、読み終わった後も大切に保管し、わからないことが出てきた時にご利用下さい。

# KAWAI

Professional Stage Piano **MP9000**

## 取扱説明書

### 特徴



- 木製ハンマーアクション鍵盤によるピアノタッチを追求したステージモデル。
- ピアノ音色を始めとする厳選された16音色を内蔵。
- 高品位リバーブ/エフェクトを搭載
- 内部2系統、外部2系統のセットアップを64セットプログラム可能。
- 充実のプロフェッショナル機能を満載。
- ・様々なパラメータをリアルタイムにセットできるノブ、フットコントローラー。
- ・2系列まで同時にコントロール可能なMIDIマスターキーボード機能。
- ・XLR端子（バランスアウト）も備えた出力端子。



### 同梱品

本体/電源コード/ダンパー、ソフトペダル/取扱説明書(本書)/保証書/ご愛用者カード（全て各1部）




# 安全上の注意

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています  
製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

	<b>注意</b> 感電の危険あり 本体をあけるな		このマークは、感電の危険があることを警告しています。
注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。			このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

## 絵表示の例

	記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。
	記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

## 警告

<b>電源は、必ずAC100Vを使う</b> 100V以外禁止	  	電圧の異なる電源を使用しないで下さい。 発火の恐れがあります。
<b>水に濡れた手で、電源コードを抜き差ししない</b> 濡れた手で触らない	 	感電の原因になります。
<b>本機を落とさない</b> 落とさない	 	
<b>ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない</b> 長時間使用禁止	 	聴力低下の原因になる恐れがあります。
<b>本機を分解、修理、改造しない</b> 分解禁止	 	故障、感電、ショートの原因になります。
<b>電源コードを抜くときは、コードを引っ張らない</b>		コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。
<b>長時間ご使用しない時は必ず電源コードを抜く</b> プラグを抜く		落雷時に火災の原因になります。

## ⚠ 注意

本機を次のような所では使用しない  
窓際など直射日光の当たる場所  
暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所  
戸外など極端に温度の低い場所  
極端に湿度の高い場所  
砂やホコリの多い場所  
振動の多い場所

使用禁止



故障の原因になります。

コード類を接続するときは、  
各機器の電源を  
切って行う

電源を切る



本機や接続機器の故障の原因になります。

本機の内部に異物を入れない  
ようにする

異物を入れない



水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

テレビやラジオ等の  
電気機器の側に置かない

他電気機器から離す



本機が雑音を発する恐れがあります。  
本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

電源コード、接続コード類は  
からまないように  
接続する

からまないようにする



コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

ベンジンやシンナーで本機を  
拭かない

ベンジン / シンナー禁止



色落ちや、変形の原因になります。  
清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

本機の上に乗ったり、圧力を  
加えない

上に乗らない



変形したり、壊れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

⊘ 本機は、木製鍵盤を搭載しているため、特に次の点に注意してください。

長期間立てたままにしない  
湿度の高い場所での使用及び保管をしない  
雨天に野外で演奏をしない  
鍵盤に通常の演奏時以上の荷重をかけない

鍵盤の性能に影響を与えます。  
鍵盤が変形し、故障の原因になります。  
鍵盤が変形し、故障の原因になります。  
故障の原因になります。

ヘッドホン使用時、または音量を下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

### 保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

### 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

# 目次

はじめに .....	6	4. SETUP (セッティング) .....	26
1. 各部の名称と働き .....	8	1) セッティングの呼び出し方 (セッティング・ プレイモード) .....	26
2. デモ演奏 .....	12	2) SETUP MENU (セッティング メニュー) .....	27
1) 電源を入れます。 .....	12	設定作業 .....	27
2) デモ曲を聴いてみましょう。 .....	12	Edit Program (エディット プログラム) .....	28
3. SOUND (サウンド) .....	13	IU/IL (音色設定) .....	28
1) 内部音源を鳴らしてみましょ。 .....	13	PRG (プログラムナンバー) .....	28
2) 外部音源を鳴らしてみましょ。 .....	15	MSB (プログラムナンバー) .....	28
3) スプリット演奏 .....	17	LSB (プログラムナンバー) .....	28
音色の変更 .....	17	CH (チャンネル) .....	28
スプリットポイントの変更 .....	18	Edit Common (コモン) .....	29
4) トランスポーズ .....	19	REV type (リバーブ タイプ) .....	29
5) EFX/REVERB .....	19	EFX type (エフェクト タイプ) .....	29
EFX (エフェクト) .....	19	Edit Section (エディット セクション) .....	30
REVERB (リバーブ) .....	21	Zone Hi (ゾーン ハイ)	
6) EQ (イコライザー) .....	22	/Zone Lo (ゾーン ロー) .....	30
7) TONE MODIFY (トーン モディファイ) .....	22	Velo SW (ベロシティ スイッチ) .....	31
8) ノブを使って		Velo SW val (ベロシティ スイッチ バリュウ) .....	31
コントロールチェンジの送信 .....	23	Velo sense (ベロシティ センス) .....	31
9) SOUND MENU (サウンド メニュー) .....	24	Transpose (トランスポーズ) .....	31
設定作業 .....	24	Damper (ダンパー) .....	32
Voicing (ボイシング) .....	24	FSW (フットスイッチ) .....	32
REV Type (リバーブ タイプ) .....	25	EXP (エクスペッション) .....	32
EFX type (エフェクト タイプ) .....	25	Modulation (モジュレーション) .....	32
Upper Tx Ch (アップー送信チャンネル) .....	25	Bender (ベンダー) .....	32
Lower Tx Ch (ロワー送信チャンネル) .....	25	Tx Ch (送信チャンネル) .....	33
		Tx PRG (プログラムチェンジの送信) .....	33
		Tx Bank (バンク送信) .....	33
		Knob {A~D} (ノブA~D) .....	33
		Knob {A~D} cc# (ノブA~D コントロールチェンジNo.) .....	33
		Pan (パン) .....	34
		Coarse (コース) .....	34
		Fine (ファイン) .....	34
		Bender Range (ベンダー レンジ) .....	34
		Voicing (ボイシング) .....	34
		Solo (ソロ) .....	35
		Solo Mode (ソロ モード) .....	35
		Tx pan (送信パン) .....	35
		Tx Coarse (送信コース) .....	35
		Tx Fine (送信ファイン) .....	35
		Tx BendrRange (送信ベンドレンジ) .....	35
		Tx Attack (送信アタック) .....	36
		Tx Decay (送信ディケイ) .....	36
		Tx Release (送信リリース) .....	36
		Tx Cutoff (送信カットオフ) .....	36

5 . STORE (ストア) .....	37
1) Store Sound (ストア サウンド) .....	37
2) Store Setup (ストア セットアップ) .....	38
3) Dump All (ダンプ オール) .....	40
4) Dump Current (ダンプ カレント) .....	41
5) Reset Current (リセット カレント) .....	42
6) Reset All (リセット オール) .....	43
6 . LINK (リンク) .....	44
1) LINK設定 .....	44
2) Store Link (ストア リンク) .....	45
7 . SYSTEM (システム) .....	46
1) SYSTEM MENU (システム メニュー) ...	46
設定作業 .....	46
SysTune (システム チューニング) .....	46
System CH (システム チャンネル) .....	47
FSW CC# (フットスイッチ コントロールチェンジ) .	47
EXP CC# (エクスプレッション コントロールチェンジ) .....	47
Touch (タッチ) .....	48
LCD Contrast (LCD コントラスト) .....	48
RCV ch Mute (受信チャンネル・ミュート) .....	48
8 . その他 .....	49
MIDI IN .....	49
音色 .....	50
主な仕様 .....	50
MIDI DATA FORMAT .....	51
MIDI インプ リメンテーションチャート .....	59

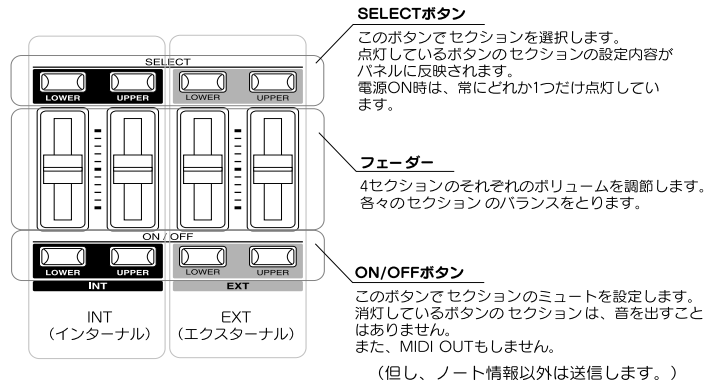
# はじめに

本機は、厳選された 16 音色を内蔵したステージピアノです。

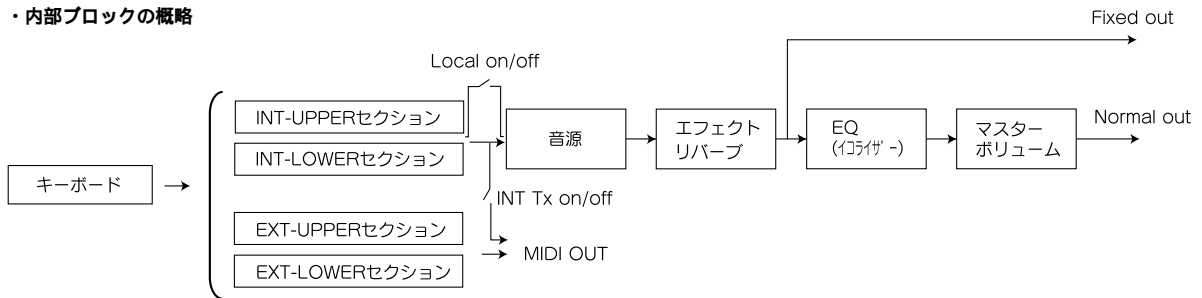
## 4つのセクション

本機は、INT (インターナル) と EXT (エクスターナル) の 2 つに分割されています。  
INT/EXT にはそれぞれ 2 つのセクションが用意されており、LOWER (ロワー) セクションと UPPER (アッパー) セクションといいます。  
これら合計 4 つのセクションで、演奏することができます。

- INT  
内部音源へつながっており、パネル上での操作は内部音源へ送信されます。
- EXT  
パネル上での操作は MIDI 情報として MIDI OUT より出力されます。  
接続した外部の MIDI 音源などを操作するためのものです。  
内部音源には全く関係しません。

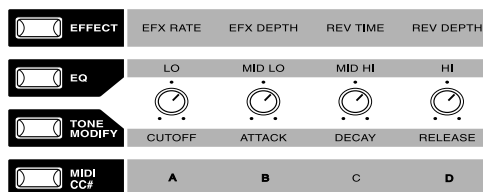


## 内部ブロックの概略



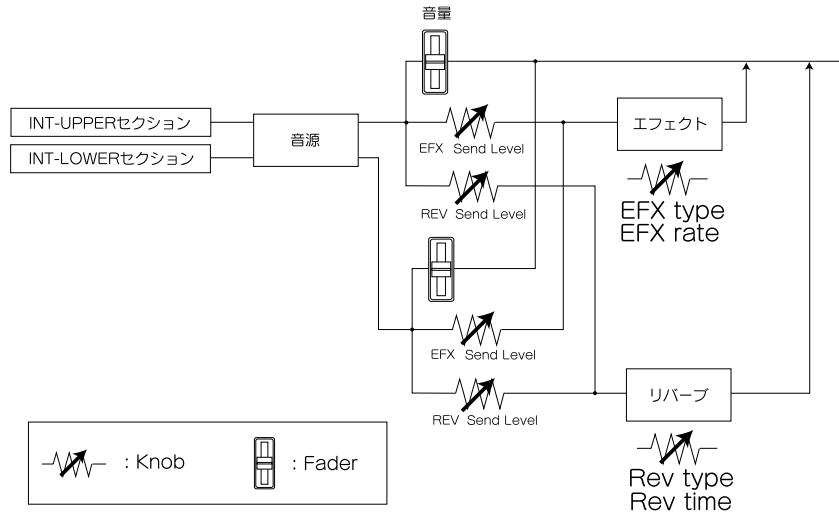
## 4つのノブ

パネル上には 4 つのノブがあり、4 つのパラメータ (エフェクト / イコライザー / トーンモディファイ / コントロールチェンジ) をアサインすることができます。  
演奏中にノブを使ってリアルタイムにこれらの値を変更させることができます。



REVERB (リバーブ)/EFFECT (エフェクト)

本機は、7種類のリバーブと21種類のエフェクトを搭載しています。  
 パネルにある4つのノブで、アサインされているリバーブ/エフェクトのパラメータの値を変更することができます。



		Sound/Setupモード
EFX /Rev	Type	U/L共通
	Rate	U/L共通
	Depth	U=設定可能 L=設定可能

U : UPPERセクション  
 L : LOWERセクション

サウンドモードでは、UPPER音色選択時、EFXボタンがOFFとなります。

SOUND (サウンド)/SETUP (セットアップ)/SYSTEM (システム)

本機は、SOUND (サウンド)/SETUP (セットアップ)/SYSTEM (システム) から構成されており、音色ボタンの上にある2つのボタンで切り替えできます。

- SOUNDモード  
 : 通常の演奏モードです。音色ボタンを選択し演奏します。(P.13 参照)



- SETUPモード  
 : 各セクション毎に様々な設定ができ、その演奏状態を64個まで本体内部に保存します。簡単なボタン操作で演奏状態を呼び出すことができます。(P.26 参照)

- SYSTEM  
 : 本機全体に関する設定を行います。(P.46 参照)

SOUND/SETUPのモードで設定した内容は、STORE (ストア) 操作を行い保存しないと、電源を切ったり、他のセットアップを選択した時点で設定内容は消えてしまいます。

SYSTEM で設定した内容は、SYSTEM を抜けるとき自動的に保存されます。

# 1. 各部の名称と働き

## フロントパネル

### 【フェーダー部】

#### VOLUMEフェーダー

全体のボリュームを調節します。(INTのみ有効)

#### SELECTボタン

4つのセクションを選択します。

INT (インターナル) とEXT (エクスターナル) それぞれ2セクション (LOWER/UPPER) あります。

4つの内1つのボタンのみ選択できます。パネルの状態は、選択されているボタンのセクションの状態です。

設定を行う場合は、ここでセクションを選択します。

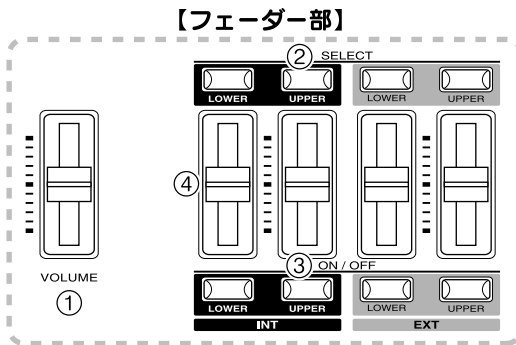
#### ON/OFFボタン

セクションのミュートを設定します。

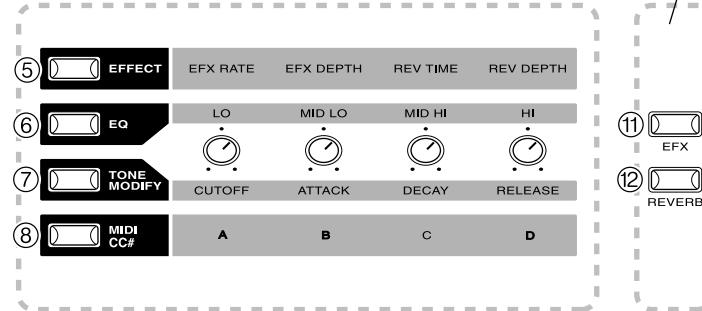
消灯しているボタンのセクションは、ミュートされています。オフ時でも、MIDI INから入ってくる演奏では、発音します。

#### フェーダ・(セクション・ボリューム)

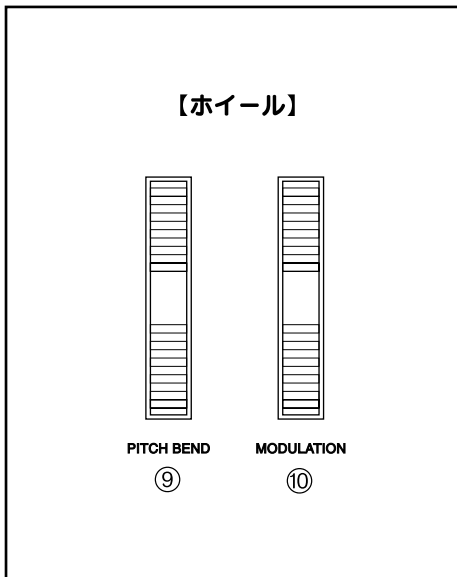
各セクションのボリュームを設定し音量バランスを調節します。



### 【ノブ部】



### 【ホイール】



### 【ノブ部】

4つのノブは、左横の4つのボタンの項目の値を変更します。点灯しているボタンが有効です。

#### EFFECTボタン (P.20参照)

選択されているセクションの、エフェクト/リバーブのレートとデプスを調節します。

#### EQボタン (P.22参照)

イコライジングをします。

#### TONE MODIFYボタン (P.22参照)

選択されているセクションの、カットオフ/アタック/ディケイ/リリースの値を設定できます。

#### MIDI CC#ボタン (P.23参照)

コントロールチェンジをアサインして値をMIDI OUTします。

### 【ホイール】

#### PITCH BEND

このホイールを上下することで、音程を上下できます。

#### MODULATION

ピブラート等のかかり具合を調節することができます。

**【エフェクトスイッチ】**

**EFXボタン (P.19参照)**  
エフェクトのオン/オフを各セクション毎に行います。  
各音色には、変更可能ですが、あらかじめメーカー推奨のエフェクトがセットされています。

**REVERBボタン (P.21参照)**  
リバーブのオン/オフを各セクション毎に行います。  
各音色には、あらかじめメーカー推奨のリバーブがセットされています。

**【メニュー】**

**MENUボタン**  
各モード (サウンド/セットアップ/システム) でいろいろな設定ができます。この設定項目をMENUボタンで選択します。  
**LINKボタン (P.44参照)**  
2つのMENUボタンを同時に押せば、サウンドとセットアップの呼び出しに便利なリンクモードになります。

**【ディスプレイ】**

音色や設定を表示します。

**【バリュー】**

**VALUEボタン**  
メニューで選択した項目の値を設定します。

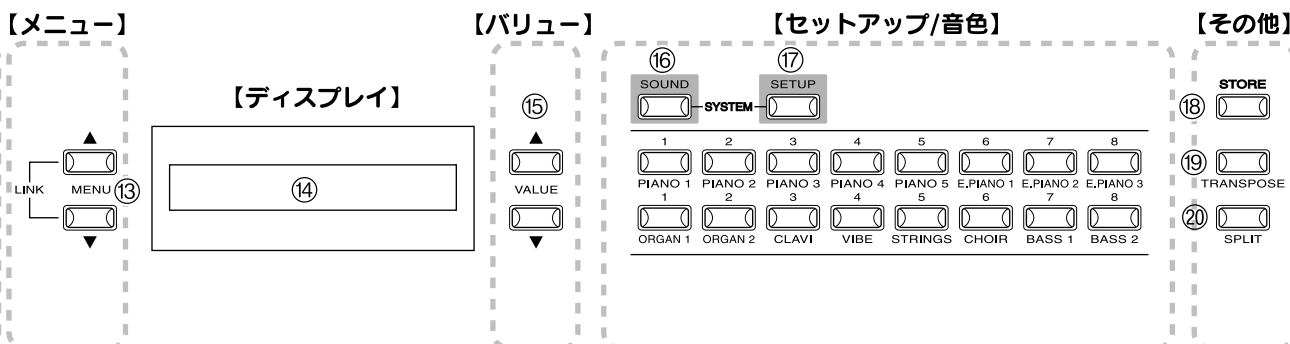
**【セットアップ・音色】**

**SOUNDボタン (P.13参照)**  
このボタンの点灯中は、サウンドモードであることを示します。

**SETUPボタン (P.26参照)**  
このボタンの点灯中は、セットアップモードであることを示します。

SOUNDボタンとSETUPボタンを同時に押して点灯させれば、システムモードに入ります。

**【エフェクトスイッチ】**



**【その他】**

**STOREボタン**  
サウンド/セットアップ/リンクでの設定を本体内部に保存します。

**TRANSPOSEボタン (P.19参照)**  
トランスポーズ (移調) のオン/オフボタンです。  
移調する値は、TRANSPOSEボタンを押しながら鍵盤を押すか (C3=0)、VALUEボタンで設定します。

**SPLITボタン (P.17参照)**  
スプリット演奏 (鍵盤を左右2つに分けて、別々の音で演奏。) を行うときに、このボタンを押し点灯させます。  
スプリットポイントの位置は、SPLITボタンを押しながら鍵盤かVALUEボタンを押して設定します。

## リアパネル

### OUTPUT

- FIXED R・L
- NORMAL (R・L/MONO)

XLR端子を接続します。ボリュームとイコライザーは、バイパスされます。標準プラグを接続します。ボリュームとイコライザーも通って出力されます。

### PHONES

ヘッドホンを接続します。

### Foot Controller

- EXP

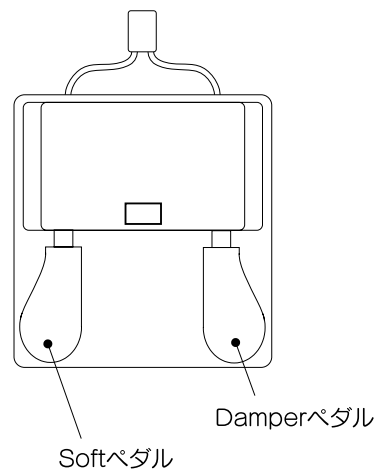
別売りのエクスプレッションペダル (V-20X) と接続します。システムでコントロールチェンジ番号を設定することで、いろいろな機能をアサインすることができます。

- FSW

別売りのフットスイッチ (F-1) と接続します。システムでコントロールチェンジ番号を設定することで、いろいろな機能をアサインすることができます。

### DAMPER/SOFT

付属のフットペダル (F-2) と接続します。  
鍵盤を弾くときに、ダンパーペダルを踏めば音に余韻が加わります。  
ソフトペダルを踏めば音量がわずかに下がると同時に音の響が柔らかくなります。



### MIDI (THRU/OUT/IN)

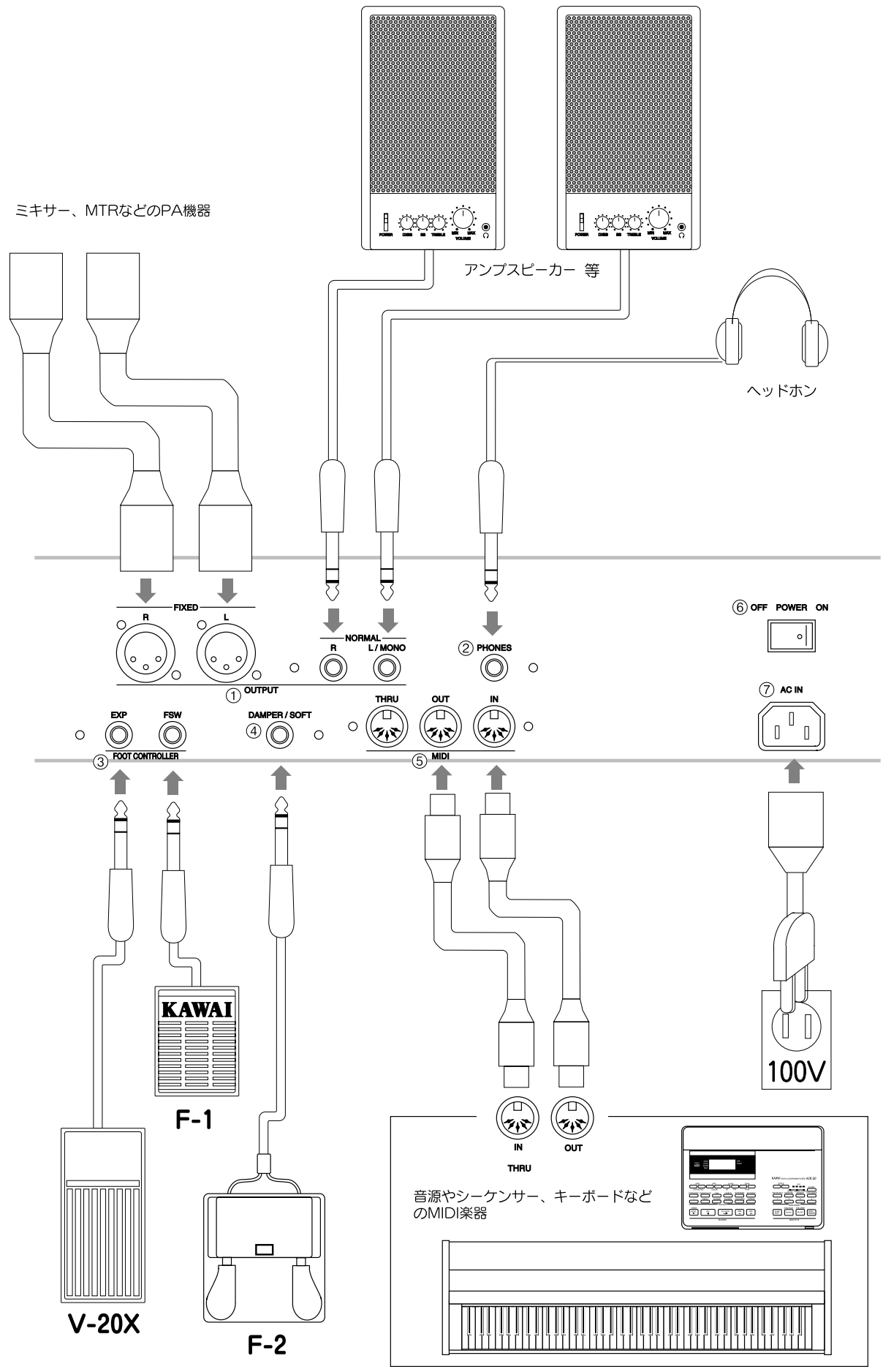
MIDI端子です。MIDIケーブルで他のMIDI機器と接続します。

### POWER ON/OFF

電源のON/OFFを行います。

### AC IN

電源コードでAC100Vのコンセントと接続します。



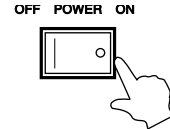
# 2. デモ演奏

## 1) 電源を入れます。

### 操作 1

リアパネルの電源スイッチを入れます。

接続したアンプなどの電源を入れる前に本機の電源を入れるようにしてください。



## 2) デモ曲を聴いてみましょう。

各音色の特色を最大限生かしたフレーズ デモ演奏を 7 曲内蔵しています。

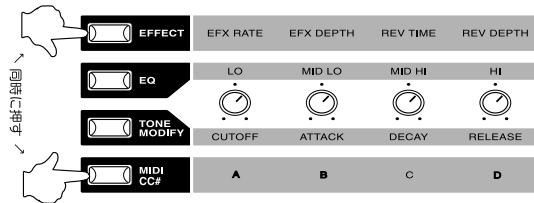
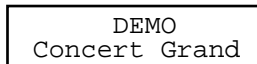
1. Concert Grand 2. E.Piano1 3. E.Piano2 4. E.Piano3 5. Organ1 6. Clavi 7. Strings

以下の手順で、デモ曲を演奏させましょう。

### 操作 1

EFFECT ボタンとMIDI ボタンを同時に押します。

ディスプレイにデモの音色名が表示され演奏がスタートします。

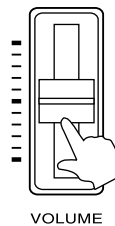


演奏は、EFFECT ボタンか MIDI ボタンのどちらかを押すまで、7 曲を順次繰り返し演奏します。

### 操作 2

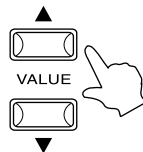
VOLUME スライダーで音量を調節できます。

上へ移動するほど音量が増します。



### 操作 3

VALUE UP/DOWN ボタンで選曲できます。



### 操作 4

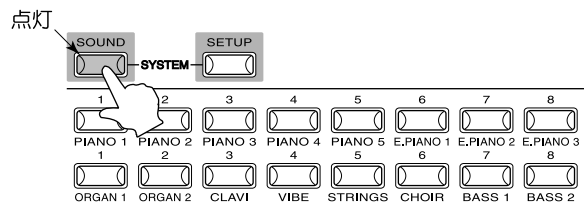
EFFECT ボタンかMIDI ボタンを押してデモ演奏をとめます。

# 3 . SOUND (サウンド)

SOUND ボタンが点灯している状態が、サウンドモードです。

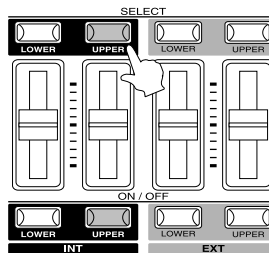
## 1) 内部音源を鳴らしてみましょう。

本機には、厳選された 16 音色が内蔵されています。  
ここでは、UPPER セクションに音色を設定して音を鳴らしてみます。  
まず、SOUND ボタンが点灯していることを確認ください。  
消灯時は、SOUND ボタンを押して点灯させてください。



### 操作 1

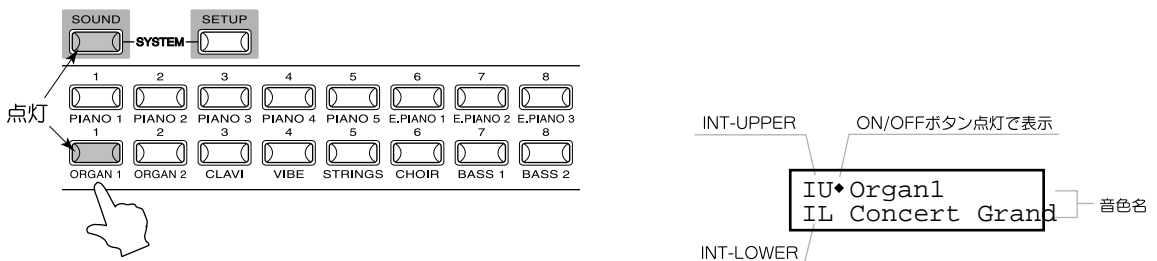
SELECTのINT-UPPERボタンを点灯させます。



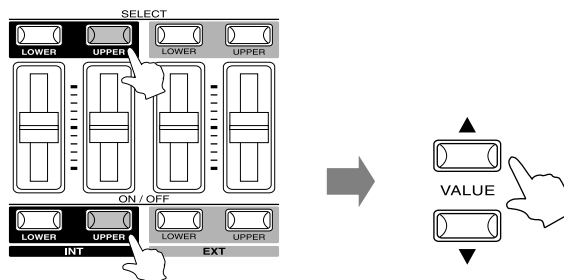
### 操作 2

音色ボタンを押して音色を選びます。

INT-UPPER セクションの ON/OFF ボタンが消灯していれば、自動的に点灯しオンに設定されます。  
押された音色ボタンが点灯し、鍵盤を弾けばその音色が発音されます。



音色選択は、VALUEボタンで行うこともできます。



2つのセクションの音色を重ねて鳴らしてみましょう。

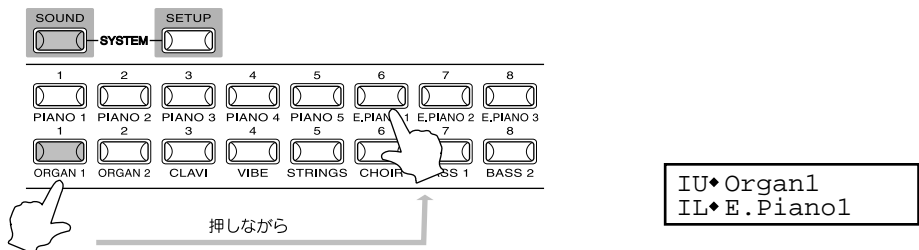
ひきつづき、UPPER/LOWER 両セクションに音色を設定して、同時に発音させます。

操作 1

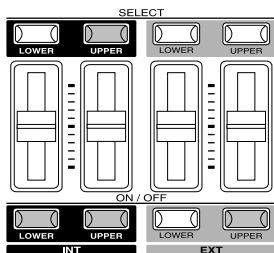
UPPERセクションに設定する音色ボタンを押しながら、LOWERセクションに設定する音色ボタンを押します。

SELECTのINT-UPPERボタンが点灯していることを確認してください。

最初に押した音色ボタンがUPPERセクションの音色となり、次に押した音色ボタンがLOWERセクションの音色となります。



このとき、INT-UPPER/LOWERのON/OFFボタンが自動的に点灯します。



SELECTのINT-LOWERボタンが点灯している時、2つの音色ボタンを押した場合は、最初に押した音色ボタンがLOWERセクションの音色となり、次に押した音色ボタンがUPPERセクションの音色となります。

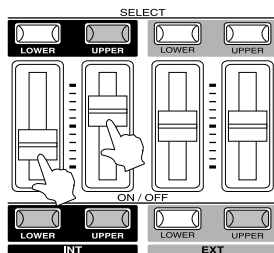
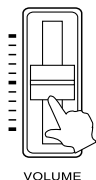
操作 2

INT-UPPER/LOWERそれぞれのフェーダー

で音量のバランス調節ができます。

2つのセクションに設定されている音色のバランスをとります。

全体のボリュームは、VOLUMEフェーダーで調節します。



INT-UPPERセクションのSELECTボタンを点灯させた後、VALUEボタン（又は音色ボタン）でINT-UPPERセクションの音色を設定し、次にINT-LOWERセクションのSELECTボタンを点灯させた後、VALUEボタン（又は音色ボタン）でINT-LOWERセクションの音色を設定することもできます。

## 2) 外部音源を鳴らしてみましょう。

ここでは、MP9000 を操作して、接続した MIDI 音源を操作する場合を説明します。  
本機では、外部機器を操作するためのセクション（EXT セクション）が 2 つ用意されています。

本機とMIDI音源とを接続します。

### 操作 1

本機のMIDI OUTと接続MIDI音源のMIDI INとをMIDIケーブルで接続します。

(P.11 参照)

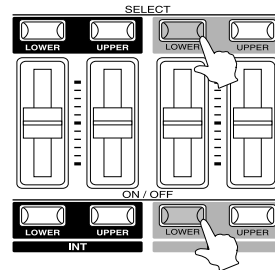
EXT-LOWERセクションを選択

### 操作 2

SELECTとON/OFFのEXT-LOWERボタンを  
押して点灯させます。

エクスターナルの LOWER セクションが選択されました。

EXT の場合は、ディスプレイで表示する内容はありませぬ。  
INT の内容を表示します。



MIDIチャンネルをあわせませぬ。

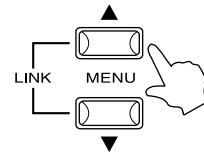
MIDI 情報をやり取りする場合は、MIDI ケーブルで接続した機器の MIDI チャンネルを合わせなければいけません。  
本機の MIDI 送信チャンネルの設定の仕方は以下の通りです。

### 操作 3

MENU-UPボタンを押していきませぬ。

SOUND ボタンが点灯時に押しませぬ。

MENU-UP ボタンを数回押ししていくと送信 MIDI チャンネル設定画面が表示されませぬ。



IU♦Organ1
EL Tx Ch = 16

 EXT-LOWERセクションの送信MIDIチャンネル

LOWER セクションのチャンネル設定画面の表示の時、さらに MENU-UP ボタンを押しませぬと UPPER セクションのチャンネル設定画面となります。

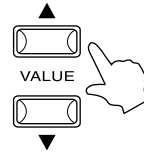
IU♦Organ1
EU Tx Ch = 16

 EXT-UPPERセクションの送信MIDIチャンネル

#### 操作 4

VALUEボタンを押してMIDIチャンネルの値を設定します。

1 ~ 16の間で値を設定します。



本機で鍵盤を弾いたり、後で説明するノブを使ってパラメーターの値を変更するなどの演奏/操作を行うと、本機のMIDI OUTよりその演奏/操作情報が接続したMIDI音源モジュールへ送られます。

音色は、音源モジュールの方で設定を行ってください。

後で説明するセットアップモード (P.26参照) では、本機よりプログラムナンバーを送信し音色を変更することができます。

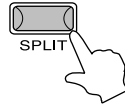
### 3) スプリット演奏

スプリット演奏では鍵盤を左右2つに分け、それぞれの部分に音色を設定することができます。演奏時に右手（高音側）と左手（低音側）で別々の音色で演奏することができます。この左右の鍵盤は、LOWERセクションとUPPERセクションに対応しています。INT/EXT両方でスプリットになります。

#### 操作

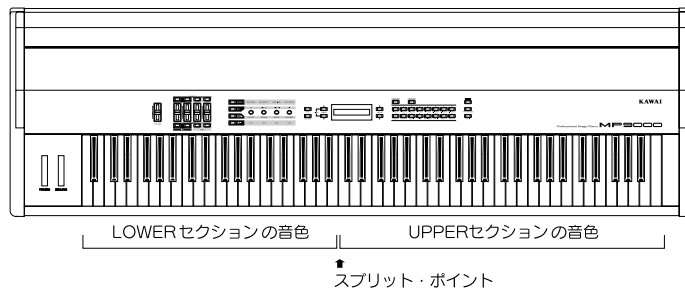
SPLITボタンを押して点灯させます。

SPLIT POINT  
C3



C3を境に鍵盤が2つに分かれます。この分割された鍵盤をスプリットポイントといいます。高音側には、UPPERセクションの音色、低音側にはLOWERセクションの音色が設定されています。

SPLITボタンを押している間、ディスプレイにはスプリットポイントの位置が表示されます。SPLITボタンを押した時、自動的にINT-UPPER/LOWERのON/OFFボタンが点灯します。



#### 音色の変更

スプリット時の音色変更も前述したUPPER/LOWERセクションの音色設定の操作と同じです。

#### 操作

音色ボタンを1つ押します。

SELECTのINT-UPPERボタンが点灯しているときは、スプリットで鍵盤を2つに分けた時の高音側の音色が押された音色に変わります。SELECTのINT-LOWERボタンが点灯しているときは、スプリットで鍵盤を2つに分けた時の低音側の音色が押された音色に変わります。

#### 操作

音色ボタンを1つ押しながら、もう1つ押します。

SELECTのINT-UPPERボタンが点灯しているときは、最初に押した音色が、スプリットで鍵盤を2つに分けた時に高音側の音色となり、次に押した音色が低音側の音色となります。

SELECTのINT-LOWERボタンが点灯しているときは、最初に押した音色が、スプリットで鍵盤を2つに分けた時に低音側の音色となり、次に押した音色が高音側の音色となります。

左右の鍵盤に設定されている音色の音量バランスの設定。

## 操作

INT-UPPER/LOWERそれぞれのフェーダーで調節できます。

2音色を重ねて発音させた時と同じ要領です。(P.14 参照)  
上に上げる程音量が上がります。

## スプリットポイントの変更

鍵盤を2つに分割している分割点(スプリットポイント)を変更します。

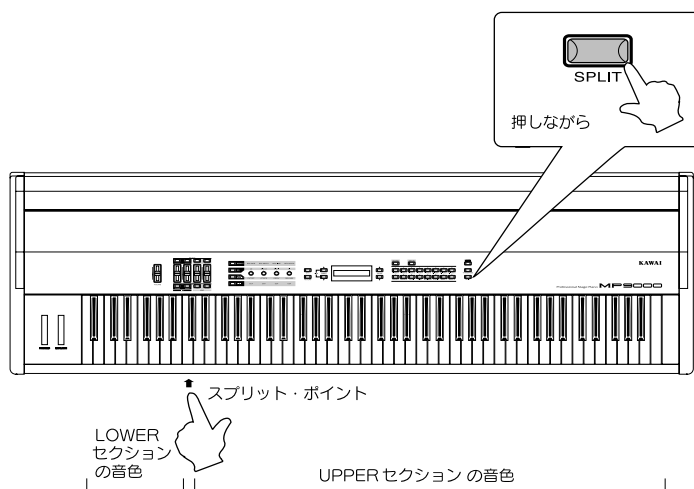
## 操作

SPLITボタンを押しながら分割する鍵盤を押します。

押された鍵盤を境に2分割されます。

押された鍵盤は、UPPER側に入ります。

SPLITボタンを押しながら、VALUEボタンでスプリットポイントの位置を設定することもできます。



## 4) トランスポーズ

トランスポーズ機能を使って、音程を半音単位で -24 ~ 0 ~ +24 (4 オクターブの範囲) を変更することができます。

### 操作 1

TRANPOSE ボタンを押しながら鍵盤を押して値を設定します。

TRANPOSE ボタンが点灯時、設定した値だけ移調されます。

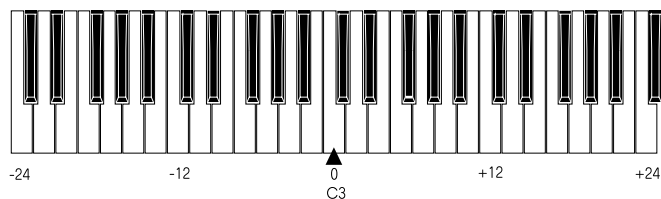
TRANPOSE ボタンを押している間、ディスプレイに値が表示されます。



C3 の鍵盤で 0 です。

ディスプレイにトランスポーズの値が表示されています。

VALUE ボタンで値を設定することもできます。



## 5) EFX/REVERB

EFX (エフェクト) と REVERB (リバーブ) を内蔵しています。

### EFX (エフェクト)

#### エフェクトのオン/オフ

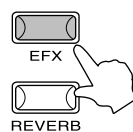
内蔵音色には、工場出荷時にエフェクトがセットされています。

### 操作 1

EFX ボタンを押して点灯させます。

音色にエフェクトがかかります。

再度押して消灯させると、エフェクトを切ることができます。



エフェクトの種類は、「SOUND MENU」(P.25参照) で設定します。

サウンドモードでは、UPPERセクションの音色を切り換えると自動的に、LOWERセクションのEFXボタンがオフとなります。

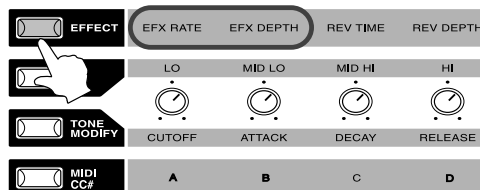
ノブを使ってそれぞれのエフェクトの値を設定します。

### 操作 1

EFFECTボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、エフェクト設定機能に移り変わります。

EfR	EfD	RvT	RvD
41	64	96	127



- EfR [EFX RATE] (0 ~ 127)  
: レートは、エフェクトの種類によって内容が異なります。
- EfD [EFX DEPTH] (0 ~ 127)  
: エフェクトのかかり具合を設定します。

		EfR	EfD
1	CHORUS 1	rate	0 ~ 12.7Hz
2	CHORUS 2	rate	0 ~ 12.7Hz
3	CHORUS 3	rate	0 ~ 12.7Hz
4	FLANGER1	rate	0 ~ 12.7Hz
5	FLANGER2	rate	0 ~ 12.7Hz
6	ENSEMBLE	rate	0 ~ 12.7Hz
7	CELESTE	rate	0 ~ 12.7Hz
8	DELAY1	delay time	0 ~ 100(%)
9	DELAY2	delay time	0 ~ 100(%)
10	AUTO PAN	rate	0 ~ 12.7Hz
11	TREMOLO	rate	0 ~ 12.7Hz
12	PHASER1	rate	0 ~ 12.7Hz
13	PHASER2	rate	0 ~ 12.7Hz
14	ROTARY1	rate	slow/fast
15	ROTARY2	rate	slow/fast
16	AUTO WAH	sense	0 ~ 100(%)
17	EXCITER	intensity	0 ~ 100(%)
18	ENHANCER	intensity	0 ~ 100(%)
19	OVERDRIVE	drive	0 ~ 100(%)
20	DISTORTION	drive	0 ~ 100(%)
21	SYMPATHETIC RESONANCE	early ref level	0 ~ 100(%)

## REVERB (リバーブ)

### リバーブのオン/オフ

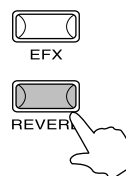
音色にかけられているリバーブ効果のオン / オフを行います。

#### 操作 1

REVERBボタンを押して点灯させます。

音色にリバーブが加わります。

再度押して消灯させると、リバーブ効果を切ることができます。



リバーブの種類は、「SOUND MENU」(P.25参照)で設定します。

ノブを使ってそれぞれのリバーブの値を設定します。

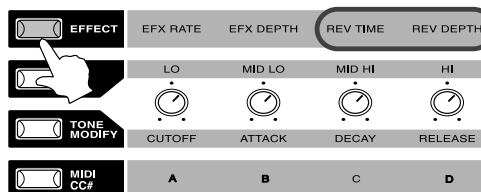
#### 操作 1

EFFECTボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、エフェクト設定機能に変わります。

EfR	EfD	RvT	RvD
41	64	96	127

- RvT [REV TIME] (0 ~ 127)  
: リバーブタイムを設定します。
- RvD [REV DEPTH] (0 ~ 127)  
: リバーブ効果の深さを設定します。



	RvT	RvD
1 REV HALL 1	rev.time 0.3 ~ 5.0S	send level
2 REV HALL 2	rev.time 0.3 ~ 5.0S	send level
3 REV STAGE 1	rev.time 0.3 ~ 3.0S	send level
4 REV STAGE 2	rev.time 0.3 ~ 3.0S	send level
5 REV ROOM 1	rev.time 0.3 ~ 3.0S	send level
6 REV ROOM 2	rev.time 0.3 ~ 3.0S	send level
7 REV PLATE	rev.time 0.3 ~ 3.0S	send level

## 6) EQ (イコライザー)

パネルのノブを使って、イコライジングができます。

本機のイコライザーは、INTの音源全体に対する設定で、SELECTボタンで選択したセクション毎の設定ではありません。またEXTには、関係しません。

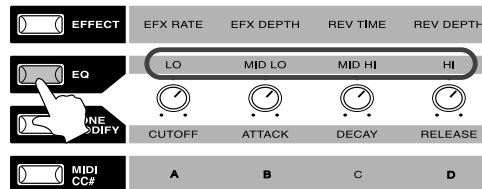
### 操作 1

EQボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、イコライジング機能に変わります。

Lo	Mlo	Mhi	Hi
0	0	0	

・-6 ~ 0 ~ +6の範囲で値を設定できます。



### 操作 2

4つのノブで、LO/MID LOW/MID HI/HIの値を変更できます。

それぞれ低 / 中低 / 中高 / 高の周波数をブースト / カットします。

FIXEDでの出力では、ここでの値の変更は影響しません。

## 7) TONE MODIFY (トーン モディファイ)

パネルのノブを使って、音質を変えることができます。

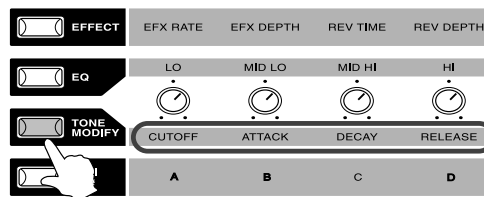
### 操作 1

TONE MODIFYボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、TONE MODIFY 設定機能に変わります。

CUT	ATK	DCY	RLS
0	0	0	0

・-50 ~ 0 ~ +50の範囲で値を設定できます。



### 操作 2

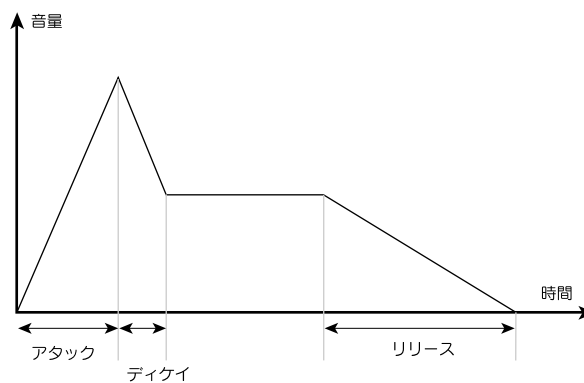
4つのノブで、CUTOFF/ATTACK/DECAY

/RELEASEの値を変更できます。

- CUTOFF (カットオフ) : カットオフの値を上げると音色が明るめになります。
- ATTACK (アタック) : 音の立ち上がりの時間を設定します。
- DECAY (ディケイ) : アタック後サステーンのレベルまでの音量が下がる時間を設定します。
- RELEASE (リリース) : 鍵盤を放してから、音が消えるまでの時間を設定します。

音色によっては、効果が現われない場合があります。

鍵盤を弾いて、発音した後の時間と音量の関係をグラフに表わすと右記のようになります。



## 8) ノブを使ってコントロールチェンジの送信

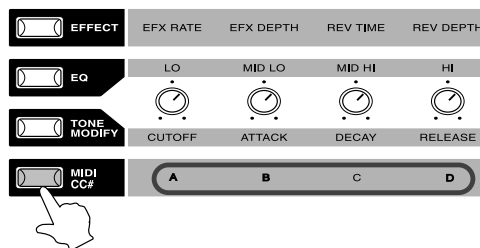
コントロールチェンジ情報をパネル上の4つのノブで値を変えることができます。INTセクションには、関係しません。

### 操作 1

MIDI CC# ボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、コントロールチェンジの値の設定機能に変わります。

・0 ~ 114 の範囲で値を設定できます。



### 操作 2

4つのノブで、アサインされているコントロールチェンジの値を変更できます。

C010	011	016	017
0	0	0	0

サウンドモードで、アサインされているコントロールチェンジのパラメータは、次の通りです。

- A : 10 バンポット
- B : 11 エクスプレッション
- C : 16 汎用操作子 1
- D : 17 汎用操作子 2

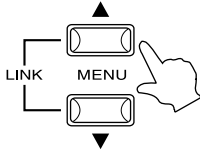
INTセクションには、この機能がないので、MIDIボタンを押した場合下記の表示となります。

Cxxx	xxx	xxx	xxx
___	___	___	___

## 9) SOUND MENU (サウンドメニュー)

サウンドモードでは、下記設定ができます。

SOUND ボタンの点灯中に MENU ボタンを押していくと、設定項目を選択できます。



- Voicing
- REV type
- EFX type
- EL Tx Ch
- EU Tx Ch

Voicing/REV Type/EFX typeは、各16音色毎に設定できます。  
Tx Chは、全体でUPPER/LOWER各1つ設定します。

ここでの設定はStore Sound (P.37参照) もしくはStore Setup (P.38参照) で保存作業をしないと、電源を切った時点で、設定内容は消えてしまいます。

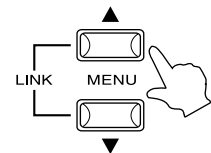
### 設定作業

ここでは、サウンドメニューでの各項目を設定する際の共通作業を説明します。

#### 操作 1

MENU ボタンを押して設定を行うパラメータの画面をディスプレイに表示させます。

SOUND ボタンが点灯している時に MENU ボタンを押します。

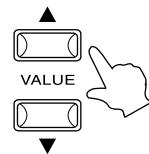


#### 操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

値は各パラメーターによって範囲が異なります。

1つの設定を行ったら、MENU ボタンを押して他の項目の設定をつづけて行うことができます。



#### 操作 3

STORE ボタンで設定を保存します。

この作業を行わないと電源を切ると値は消えてしまいます。(P.37参照)



### Voicing (ボイシング)

[ 設定値 : Normal/Mellow/Dynami/Bright ]

IU◆Concert Grand  
Voicing = Mellow

ピアノ音色のための効果です。

アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の4種類の中より選べます。

- |                   |                                     |
|-------------------|-------------------------------------|
| • Normal (ノーマル)   | : 通常の設定です。                          |
| • Mellow (メロー)    | : 柔らかめのハンマーをシミュレートした全体にソフトな音色になります。 |
| • Dynami (ダイナミック) | : ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。    |
| • Bright (ブライト)   | : 硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。     |

ピアノ音色のための効果ですが、他の音色にも適用できます。

## REV Type (リバーブタイプ)

[ 設定値 : Hall1/Hall2/Stage1/Stage2/Room1/Room2/Plate ]

```
IU♦Organ1  
REV Type=Hall1
```

リバーブとは音に響きを与える効果です。  
7種類のリバーブから選択できます。

- Hall1 (ホール1) : スタンダードなホールでの残響音をシミュレートしています。
- Hall2 (ホール2) : 小さなホールでの残響音をシミュレートしています。
- Stage1 (ステージ1) : スタンダードなステージでの残響音をシミュレートしています。
- Stage2 (ステージ2) : 小さなステージでの残響音をシミュレートしています。
- Room1 (ルーム1) : スタンダードな室内での残響音をシミュレートしています。
- Room2 (ルーム2) : 小さな部屋での残響音をシミュレートしています。
- Plate (プレート) : 金属板リバーブをシミュレートしています。

タイプを変更すると、デプス (RvD) とタイム (RvT) の値が、自動的にそのタイプの最適な値へ変わります。

## EFX type (エフェクトタイプ)

[ 設定値 : Chorus1,2,3/Flangr1,2/Ensembl/Celeste/Delay1,2/AutoPan/Tremolo/Phaser1,2/Rotary1,2/AutWah/  
Exciter/Enhancr/Overdrv/Distrtn/SympRes ]

```
IU♦Organ1  
EFX type=Flangr
```

21種類のエフェクトを内蔵しています。

- Chorus1/2/3 (コーラス1/2/3) : 元々の音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることで、音に広がりを入れます。
- Flangr1/2 (フランジャー1/2) : ダイレクト音にピッチ (音程) が微妙にずれた音を加えて、ジェット機上昇降下音のようなフランジング効果のシミュレートです。
- Ensembl (アンサンブル) : 下記のセレステよりも複雑な変調を加えた効果です。
- Celeste (セレステ) : 3相のコーラスです。コーラスをさらに柔かにした効果です
- Delay1/2 (ディレイ1/2) : 元の音に山びこ (エコー) のような反響音を加える効果です。
- AutoPan (オートパン) : 音を左右に振ります。
- Tremolo (トレモロ) : 音量を連続的に変化させ音に揺れを与えます。
- Phaser1/2 (フェーザー1/2) : 位相変調を行い音にうねりを与えます。
- Rotary1/2 (ロータリー1/2) : 回転スピーカーの効果のシミュレートです。  
Rotary2では、1を少し歪ませた効果が得られます。
- AutWah (オウトワウ) : 音の周波数にピークを持たせ、自動的にそのピークを移動させる効果です。
- Exciter (エキサイター) : 原音に広域倍音を加え、音にメリハリをつけます。
- Enhancr (エンハンサー) : 音の輪郭を補正して、音を際立たせる効果です。
- Overdrv (オーバードライブ) : 音を歪ませます。
- Distrtn (ディストーション) : オーバードライブよりもさらに音を歪ませます。
- SympRes (シンパセティックレゾナンス) : ダンパーペダルを踏んだとき、ピアノ全体の共鳴音を加えます。

タイプを変更すると、デプス (EFD) とレイト (Efr) の値が、自動的にそのタイプの最適な値へ変わります。

## Lower Tx Ch (ロー送信チャンネル)

[ 設定値 : 1 ~ 16 ]

```
IU♦Organ1  
EL Tx Ch = 1
```

前述した、送信 MIDI チャンネルを設定します。(P.15 参照)

## Upper Tx Ch (アッパー送信チャンネル)

[ 設定値 : 1 ~ 16 ]

```
IU♦Organ1  
EU Tx Ch = 1
```

前述した、送信 MIDI チャンネルを設定します。(P.15 参照)

# 4 . SETUP (セットアップ)

セットアップモードでは、各セクション毎にサウンドモードよりもさらに細かい設定ができます。

本機では、セットアップを1-1,1-2 ~ 1-8 ~ 8-8までの64のセット番号で管理しており、工場出荷時には、あらかじめ64のセットアップが保存されています。

自分で設定した内容を保存する場合は、元の設定は消えてしまいます。

セットアップとして本体に保存できる内容は次の通りです。

- スプリット演奏の設定内容 (P.17参照)
- トランスポーズの設定内容 (P.19参照)
- ノブによる設定内容 (P.20 ~ 22参照)
- エディットプログラムの設定内容 (P.28参照)
- エディットコモンの設定内容 (P.29参照)
- エディットセクションの設定内容 (P.30参照)

スプリット演奏の設定、トランスポーズの設定、ノブの操作による設定は、SOUND (サウンド) で説明した操作方法と同じです。

## 1) セットアップの呼び出し方 (セットアップ・プレイモード)

セットアップの呼び出し方は以下の通りです。

### 操作 1

SETUPボタンを押して点灯させます。

セットアップのプレイモードに入ります。

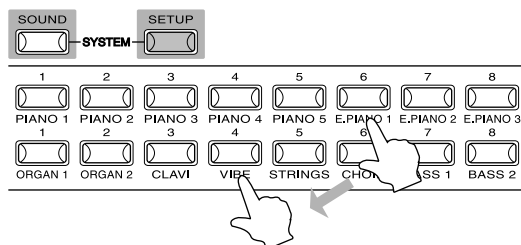


1-1SETUP

### 操作 2

音色ボタンで呼び出すセット番号を入力します。

6-4を呼び出す場合は、6.E.PIANO1ボタンと4.VIBEボタンを押します。

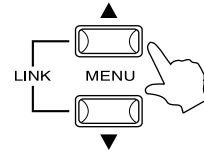


6-4SETUP

以上で6-4のセットアップが呼び出されました。

## 2) SETUP MENU (セッアップメニュー)

セッアップのモードでは、各種設定が各セクション毎にできます。  
SETUP ボタンの点灯中に MENU ボタンを押していくと、設定項目を選択できます。



EDIT PROGRAM	EDIT SECTION		
IU/IL I	Zone Hi I/E	Tx Ch E	Solo E
PRG E	Zone Lo I/E	Tx PRG E	Solo Mode E
MSB E	Velo SW I/E	Tx Bank E	Tx pan E
LSB E	Velo SW val I/E	Knob {A~D} E	Tx Coarse E
CH E	Velo sense I/E	Knob {A~D} cc# E	Tx Fine E
	Transpose I/E	Pan I/E	Tx BendrRange E
	Damper I/E	Coarse I/E	Tx Attack E
EDIT COMMON	FSW I/E	Fine I/E	Tx Decay E
REV type I	EXP I/E	Bender Range I/E	Tx Release E
EFX type I	Modulation I/E	Voicing I	Tx Cutoff E
	Bender I/E		

I : インターナルのみの設定 E : エクスターナルのみの設定  
I/E インターナル/エクスターナルそれぞれで設定

ここでの項目は、インターナルのみ (INT)、エクスターナルのみ (EXT)、インターナル/エクスターナルそれぞれ (INT/EXT) で設定できるものがあります。

保存作業を行わないと電源を切った後、設定内容は消えてしまいます。必要な場合は、StoreSetup (P.38 参照) で保存を行ってください。

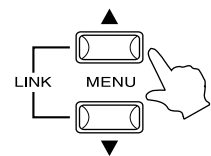
### 設定作業

ここでは、セッアップメニューでの各項目を設定する際の共通作業を説明します。

#### 操作 1

MENU ボタンを押して設定項目の画面をディスプレイに表示させます。

SETUP ボタン点灯中に MENU ボタンを押します。



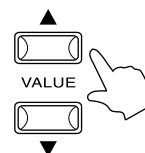
前ページのセッアップ・プレイモードで、音色ボタンはセッアップのナンバーを選択するのに使います。  
MENU ボタンを押してセッアップのエディット状態に入った場合は、音色ボタンで音色を設定することができます。

#### 操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

設定値は各設定項目によって異なります。

1つの設定を行ったら、MENU ボタンを押して他の項目の設定をつづけて行うことができます。



#### 操作 3

StoreSetup (P.38 参照) で保存を行います。

保存作業を行わないと電源を切った後、設定内容は消えてしまいます。



## Edit Program (エディット プログラム)

セットアップの音色を設定します。

INT と EXT のどちらを設定しているかで設定項目が異なります。

INT の場合は音色名、EXT の場合はプログラムナンバー /MSB/LSB/CH を設定します。

INT/EXT,UPPER/LOWER の選択は、SOUND モード時と同様 SELECT ボタンでできます。

### IU/IL (音色設定) INTのみ

[ 設定値 : Concert Grand/Studio Grand/Mellow Grand/Modern Piano/Rock Piano/E.Piano1/E.Piano2/  
E.Piano3/Organ1/Organ2/Clavi/Vibraphone/Strings/Choir/Bass1/Bass2 ]

```
IU♦Organ1
IL Concert Grand
```

### PRG (プログラムナンバー) EXTのみ

[ 設定値 : 1 ~ 128 ]

```
EU♦128:127-127
EL ***:***-***
```

### MSB (バンクセレクト) EXTのみ

[ 設定値 : 0 ~ 127 ]

```
EU♦128:127-127
EL ***:***-***
```

### LSB (バンクセレクト) EXTのみ

[ 設定値 : 0 ~ 127 ]

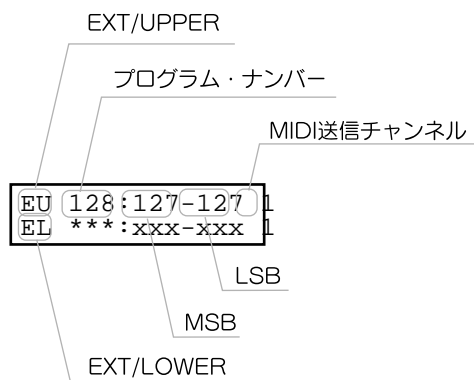
```
EU♦128:127-127
EL ***:***-***
```

### CH (チャンネル) EXTのみ

[ 設定値 : 1 ~ 16 ]

```
EU♦128:127-127
EL ***:***-***
```

送信チャンネルを設定します。



ディスプレイの1行目に、EXT-UPPERセクションのプログラム番号を表示し、2行目にEXT-LOWERセクションのプログラム番号を表示します。

MIDIでは、音色をプログラムナンバーという1~128の番号を付けて管理しています。

そのほかに、このプログラムナンバーを拡張するMSBとLSBがあります。

MSBとLSBもそれぞれ0~127の番号をもっています。

## Edit Common (コモン)

リバーブ / エフェクトの設定を行います。  
ここでの設定は、UPPER/LOWER 両セクション共通です。

### REV type (リバーブ タイプ) INTのみ

【設定値 : Hall1/Hall2/Stage1/Stage2/Room1/Room2/Plate】

```
COMMON  
REV type=Hall1
```

リバーブのタイプを設定します。(P.25 参照)

### EFX type (エフェクト タイプ) INTのみ

【設定値 : Chorus1 ~ 3/Flangr1,2/Ensembl/Celeste/Delay1,2/AutoPan/Tremolo/Phaser1,2/Rotary1,2  
/AutoWah/Exciter/Enhancr/Overdrv/Distrtn/SympRes】

```
COMMON  
EFX type=Flangr
```

エフェクトのタイプを設定します。(P.25 参照)

## Edit Section (エディット セクション)

セクション毎に設定します。

INTのみで設定する項目 INT と、EXTのみで設定する項目 EXT と、INT/EXT両方で設定する項目 INT/EXT があります。

### Zone Hi (ゾーン ハイ)/Zone Lo (ゾーン ロー) INT/EXT

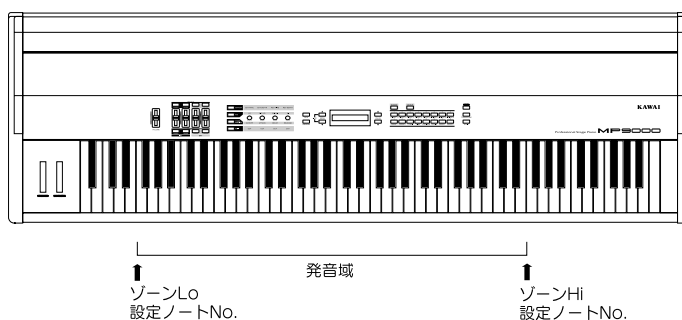
[設定値: C-2 ~ G8]

IU•Organ1  
Zoon Hi = C#-

IU•Organ1  
Zoon Lo = C#-

鍵盤上の発音範囲を設定します。

Zone Hiで設定したノートNo. と、Zone Loで設定したノートNo. の間の範囲で発音します。

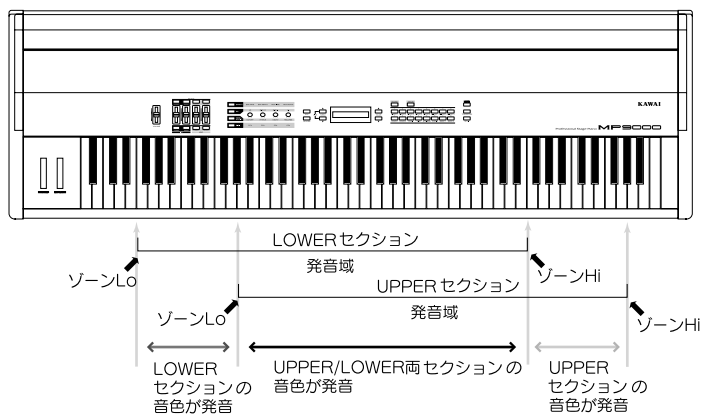


ゾーン ハイ設定画面より MENU ボタンを押してゾーン ローの設定画面へ移ります。

値は、VALUEボタン以外に鍵盤でも設定できます。

### Zone Hi/Loをあわせた使い方

UPPER セクションと、LOWER セクションにそれぞれ Zone 設定した場合は、下図の様な使い方ができます。



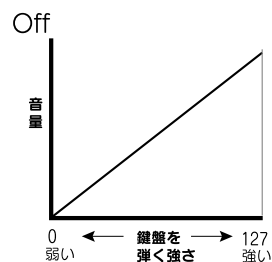
Velo SW (ベロシティー スイッチ) INT/EXT

[ 設定値 : Off/Loud/Soft ]

```
IU♦Organ1
Velo SW =Loud
```

ベロシティー (鍵盤を弾く強さ) による発音域を設定します。

- Off : 通常
- Loud : Velo SW valの値よりも強く鍵盤を弾いた時、発音 (MIDI OUT) します。
- Soft : Velo SW valの値よりも弱く鍵盤を弾いた時、発音 (MIDI OUT) します。



Vel SW valは、次の項目で設定できます。

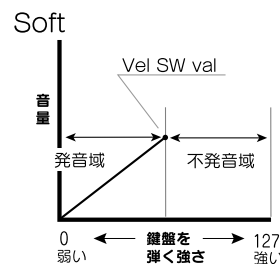
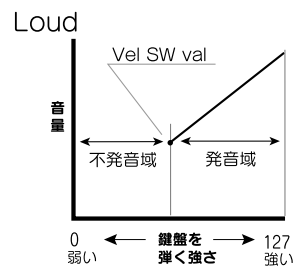
Velo SW val (ベロシティー スイッチ バリュウ) INT/EXT

[ 設定値 : 0 ~ 127 ]

```
IU♦Organ1
Velo SW val= 127
```

Velo SW (ベロシティー スイッチ) 設定したベロシティーによる発音域の上限 / 下限を設定します。

- Velo SWをLoudに設定した場合 : ベロシティーによる発音域の下限を設定します。
- Velo SWをSoftに設定した場合 : ベロシティーによる発音域の上限を設定します。



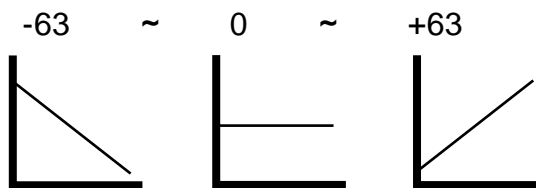
Velo sense (ベロシティー センス) INT/EXT

[ 設定値 : -64 ~ 0 ~ +63 ]

```
IU♦Organ1
Velo sense = +63
```

鍵盤タッチを調整します。

マイナスの値にセットすると鍵盤を強く弾くほど音量が小さくなり、プラスの値にセットすると鍵盤を強く弾くほど音量が大きくなります。



縦軸 : 音量 / 横軸 : 鍵盤を弾く強さ

Transpose (トランスポーズ) INT/EXT

[ 設定値 : -36 ~ 0 ~ +36 ]

```
IU♦Organ1
Transpose = +24
```

トランスポーズの値を半音単位で± 3 オクターブの範囲を設定できます。ここでのトランスポーズは、各セクション毎に設定する値です。パネルで設定するトランスポーズの値は、全体の値です。

## Damper (ダンパー) INT/EXT

---

[ 設定値 : On/Off ]

IU♦Organ1 Damper	=Off
---------------------	------

接続したダンパーペダルが、そのセクションに効くか (On) 効かないか (Off) を設定します。

## FSW (フットスイッチ) INT/EXT

---

[ 設定値 : On/Off ]

IU♦Organ1 FSW	=Off
------------------	------

接続したフットスイッチが、そのセクションに効くか (On) 効かないか (Off) を設定します。

## EXP (エクスプレッション) INT/EXT

---

[ 設定値 : On/Off ]

IU♦Organ1 EXP	=Off
------------------	------

接続したエクスプレッションペダルが、そのセクションに効くか (On) 効かないか (Off) を設定します。

## Modulation (モジュレーション) INT/EXT

---

[ 設定値 : On/Off ]

IU♦Organ1 Modulation	=Off
-------------------------	------

モジュレーションホイールが、そのセクションに効くか (On) 効かないか (Off) を設定します。

## Bender (ベンダー) INT/EXT

---

[ 設定値 : On/Off ]

IU♦Organ1 Bender	= Off
---------------------	-------

ベンダーホイールが、そのセクションに効くか (On) 効かないか (Off) を設定します。

#### Tx Ch (送信チャンネル) EXTのみ

[ 設定値 : 1 ~ 16 ]

```
EU ***:***-*** |
Tx Ch           = 16
```

MIDI アウトの送信チャンネルを設定します。

#### Tx PRG (プログラムチェンジの送信) EXTのみ

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-*** |
Tx PRG          = Off
```

セットアップ変更時、プログラムナンバーを送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

#### Tx Bank (バンク送信) EXTのみ

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-*** |
Tx Bank         = Off
```

セットアップ変更時、バンクナンバーを送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

#### Knob {A~D} (ノブA~D) EXTのみ

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-*** |
Knob A          = Off
```

セットアップ変更時に、ノブ情報を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

Offに設定されている場合でも、ノブを動かせばその値がMIDI OUTより送信されます。

#### Knob {A~D} cc# (ノブA~D コントロールチェンジNo.) EXTのみ

[ 設定値 : 0 ~ 114 ]

```
EU ***:***-*** |
Knob A cc#     = 0
```

送信するコントロールチェンジ番号を設定します。(P.23 参照)

コントロールチェンジ番号については、P.58の表「4.Contoroll Change Number(CC#)table」を参照ください。

Pan (パン) INT/EXT

[ 設定値 : L63 ~ 0 ~ R63 ]

```
IU♦Organ1
Pan          = L63
```

INT : パンポットを指定します。

L (LEFT) の値が大きくなるほど左の音量が増します。R (Right) の値が大きくなるほど右の音量が増します。

EXT : セットアップ変更時に送信するパンポットの値を設定します。 値の設定と同時に MIDI OUT より送信します。

Tx Pan ( P.35 参照 ) で ON に設定してあると、セットアップ切り換え時にここで設定した値が MIDI OUT されます。

Coarse (コース) INT/EXT

[ 設定値 : -24 ~ 0 ~ +24 ]

```
IU♦Organ1
Coarse      = -24
```

INT : セクション間での音程調節を半音単位で設定します。

EXT : セットアップ変更時に送信する発音音程を指定します。 値の設定と同時に MIDI OUT より送信します。

Tx Coarse ( P.35 参照 ) で ON に設定してあると、セットアップ切り換え時にここで設定した値が MIDI OUT されます。

Fine (ファイン) INT/EXT

[ 設定値 : -63 ~ 0 ~ +63 ]

```
IU♦Organ1
Fine       = +5
```

INT : セクション間での音程調節を約 ± 1/2 半音の間で設定します。

EXT : セットアップ変更時に送信する発音音程を指定します。 値の設定と同時に MIDI OUT より送信します。

Tx Fine ( P.35 参照 ) で ON に設定してあると、セットアップ切り換え時にここで設定した値が MIDI OUT されます。

Bender Range (バンダー レンジ) INT/EXT

[ 設定値 : (EXT)0 ~ +12 / (INT)0 ~ +7 ]

```
IU♦Organ1
Bender Range = 1
```

INT : バンダーを動かしたときの音程の変化範囲を指定します。

EXT : セットアップ変更時に送信するバンダーの変化範囲を指定します。 値の設定と同時に MIDI OUT より送信します。

Tx Bender Range ( P.35 参照 ) で ON に設定してあると、セットアップ切り換え時にここで設定した値が MIDI OUT されます。

Voicing (ボイシング) INTのみ

[ 設定値 : Normal/Mellow/Dynami/Bright ]

```
IU♦Concert Grand
Voicing = Mellow
```

ピアノ音色のための効果です。

アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の 4 種類の中より選べます。

- |                     |                                     |
|---------------------|-------------------------------------|
| • Normal ( ノーマル )   | : 通常の設定です。                          |
| • Mellow ( メロー )    | : 柔らかめのハンマーをシミュレートした全体にソフトな音色になります。 |
| • Dynami ( ダイナミック ) | : ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。    |
| • Bright ( ブライト )   | : 硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。     |

ピアノ音色のための効果ですが、他の音色にも適用できます。

### Solo (ソロ) EXTのみ

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***
Solo = Off
```

ソロモードのON/OFFを設定します。

ソロOnに設定すると同時に1つのノートしか発音しません。

### Solo Mode (ソロモード) EXTのみ

[ 設定値 : Last/Hi/Low ]

```
EU ***:***-***
Solo Mode = Last
```

上の項目 Solo がONに設定されている時、ソロのモードを指定します

- Last (ラスト) : 後に弾いたノート優先のソロ
- Hi (ハイ) : 一番高いノート優先のソロ
- Low (ロー) : 一番低いノート優先のソロ

### Tx pan (送信パン) EXTのみ

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***
Tx pan = Off
```

セットアップ変更時にパンの設定を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

### Tx Coarse (送信コース) EXTのみ

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***
Tx Coarse = Off
```

セットアップ変更時にコースの設定を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

### Tx Fine (送信ファイン) EXTのみ

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***
Tx Fine = ON
```

セットアップ変更時にファインの設定を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

### Tx BendrRange (送信バンドレンジ) EXTのみ

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***
TxBendrRange=On
```

セットアップ変更時にバンドレンジの設定を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

#### Tx Attack (送信アタック) EXTのみ

---

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***  
Tx Attack = Off
```

セットアップ変更時にアタックの設定を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

#### Tx Decay (送信ディケイ) EXTのみ

---

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***  
Tx Decay = Off
```

セットアップ変更時にディケイの設定を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

#### Tx Release (送信リリース) EXTのみ

---

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***  
Tx Release = Off
```

セットアップ変更時にリリースの設定を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

#### Tx Cutoff (送信カットオフ) EXTのみ

---

[ 設定値 : On/Off ]

```
EU ***:***-***  
Tx Cutoff = Off
```

セットアップ変更時にカットオフの設定を送信するか (On) しないか (Off) を設定します。

# 5 . STORE (ストア)

ここでは、サウンド / セットアップ 2つのモードの設定を内部に保存したり、外部の MIDI 機器に送ったりする操作を説明します。

## 1) Store Sound (ストア サウンド)

サウンドモードで、ノブで設定した値と、サウンドメニューの設定内容を本体に保存します。  
現在 UPPER セクションで選択されている音色を保存します。LOWER セクションが選択されていても UPPER セクションが保存されます。

セットアップモードでは、この設定項目はありません。

### 操作 1

STORE ボタンを押して、Store Sound 画面を表示します。

SOUND ボタンが点灯しているときに STORE ボタンを押します。

Store Sound  
Press VALUE UP

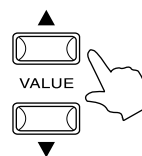


### 操作 2

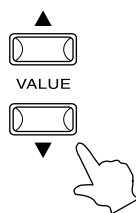
VALUE UP ボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

Store Sound  
sure?



キャンセルする場合は、VALUE DOWN ボタンを押します。



### 操作 3

VALUE UP ボタンを押し実行します。

設定が各音色に保存されます。

Store Sound  
Completed!!

次回その音色を選択すれば、音色とともに保存した内容も呼び出されます。

## 2) Store Setup (ストア セットアップ)

ここでは、サウンドモードでの設定とセットアップモードでの設定を本体内部へ保存(ストア)する方法について説明します。  
サウンドモードで保存作業を行った場合、ノブで設定した値とサウンドメニューで設定した内容を保存します。  
セットアップモードで保存作業を行った場合、スプリット演奏の設定、トランスポーズの設定、ノブで設定した値、セットアップメニューで設定した内容を保存します。

本機では、記憶場所(セット番号)を1-1,1-2 ~ 1-8 ~ 8-8までの64セット装備しています。  
この作業を行わないで、他のセットアップを選択するとそれまでの設定は消えます。  
また、電源を入れ直したときも消えます。

### 操作 1

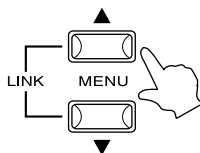
STOREボタンを押して点灯させます。

SOUND ボタンが点灯している時(サウンドモード時)にSTORE ボタンを押した場合は、MENU ボタンを1回押してください。



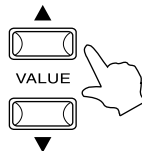
Store Setup  
Rename?

セットアップの名前を書き換えることができます。  
名前を書き換えない場合は、MENU UP ボタンを押します。(操作2へ)



名前を書き換える場合は、VALUE UP ボタンを押します。

Rename Setup  
Name = SOUND\*\*



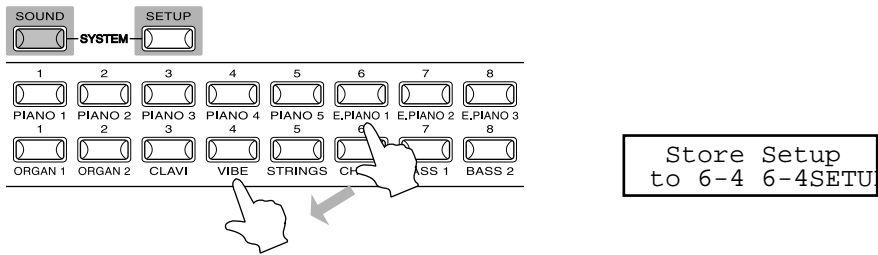
MENU UP/DOWN ボタンを押してカーソルを移動させ、VALUE UP/DOWN ボタンで文字を選択していきます。



## 操作 2

音色ボタンで記憶するセット番号を押します。

6-4 に記憶させる場合は、6.E.PIANO1 ボタンと 4.VIBE ボタンを押します。

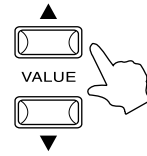


## 操作 3

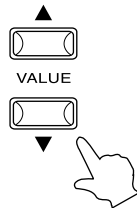
VALUE UP ボタンを押します。

設定したセット番号に記憶しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

Store Stup Sure?  
to 6-4 6-4SETUP



キャンセルする場合は、VALUE DOWN ボタンを押します。



## 操作 4

さらにVALUE UP ボタンを押します。

指定したセット番号にパネル状態が記憶されました。

Store Setup  
Completed!!

### 3) Dump All (ダンプ オール)

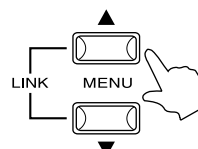
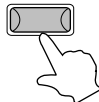
MIDI OUT 端子より、本機で設定した内容すべてを外部シーケンサー等に送信します。

#### 操作 1

STOREボタンを押した後、MENU UPボタンを押してDump All画面を表示します。

Dump All  
Press VALUE UP

STORE

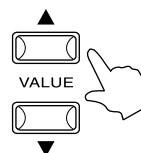


#### 操作 2

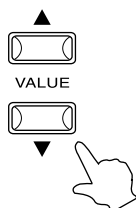
VALUE UPボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

Dump All  
Sure?



キャンセルする場合は、VALUE DOWN ボタンを押します。



#### 操作 3

VALUE UPボタンを押します。

Dump All が実行されます。

Dump All  
Completed!!

## 4) Dump Current (ダンプ カレント)

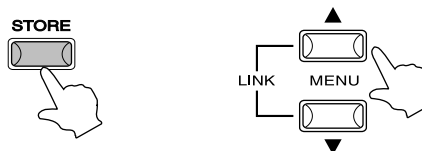
現在設定中の内容を外部シーケンサー等に送信します。

サウンドモードでは、現在設定中の音色の設定内容を、セットアップモードでは現在設定中のセットアップの内容を送信します。

### 操作 1

STOREボタンを押した後、MENU UPボタンを押してDump Current画面を表示します。

Dump Current  
Press VALUE UP

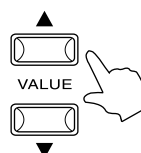


### 操作 2

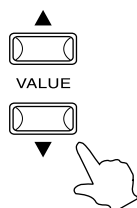
VALUE UPボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

Dump Current  
Sure?



キャンセルする場合は、VALUE DOWN ボタンを押します。



### 操作 3

VALUE UPボタンを押します。

Dump Current が実行されます。

Dump Current  
Completed!!

## 5) Reset Current (リセット カレント)

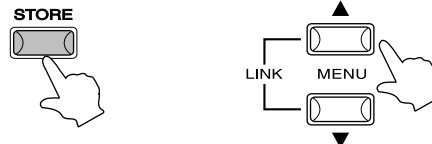
MIDI OUT 端子より、現在設定中の内容をデフォルトの値に戻します。

サウンドモードでは、現在設定中の音色の設定内容を、セットアップモードでは現在設定中のセットアップの内容をデフォルト値に戻します。

### 操作 1

STORE ボタンを押した後、MENU UP ボタンを押して Reset Current 画面を表示します。

Reset Current  
Press VALUE UP

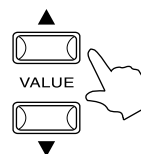


### 操作 2

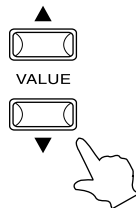
VALUE UP ボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

Reset Current  
Sure?



キャンセルする場合は、VALUE DOWN ボタンを押します。



### 操作 3

VALUE UP ボタンを押します。

Reset Current が実行されます。

Reset Current  
Completed!!

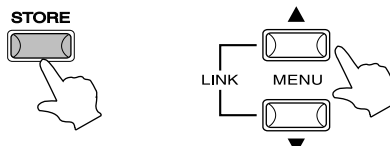
## 6) Reset All (リセット オール)

本機で設定した 16 の音色と 64 のセットアップすべてを工場出荷時の状態に戻します。  
サウンドモードとセットアップモード両方で操作できます。

### 操作 1

STORE ボタンを押した後、MENU UP ボタンを押して Reset All 画面を表示します。

Reset All  
Press VALUE UP

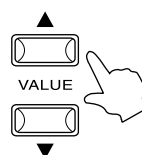


### 操作 2

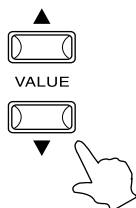
VALUE UP ボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

Reset All  
Sure?



キャンセルする場合は、VALUE DOWN ボタンを押します。



### 操作 3

VALUE UP ボタンを押します。

Reset All が実行されます。

Reset All  
Completed!!

# 6 . LINK (リンク)

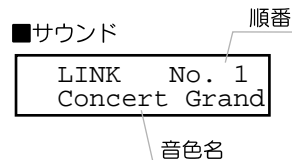
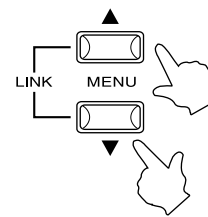
## 1) LINK設定

本機では、サウンドモードでの16音色の設定、セットアップモードでの64のセットアップがあります。これらの内、32セット (No.1 ~ 32) を選んで、呼び出す順番に並べておくことができます。

### 操作 1

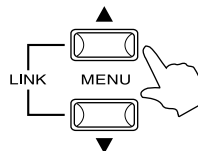
MENU-UP/DOWNボタンを同時に押します。

リンクモードに入ります。



### 操作 2

MENUボタンでNo.1~32の順番を選択します。

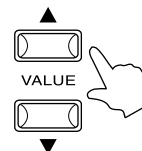


### 操作 3

VALUEボタンで64のセットアップと16の音色を設定します。

ディスプレイ2行目に設定内容が表示されます。

サウンドの設定は、SOUNDボタン点灯時、音色ボタンを押して設定できます。  
セットアップの設定は、SETUPボタン点灯時、音色ボタンでセットアップナンバーを入力して設定できます。



### 操作 4

MENU-UP/DOWNボタンを同時に押すとリンクモードから抜けます。

演奏時に、操作1でリンクモードに入れば、操作2で、あらかじめ設定しておいたサウンドモードでの各音色の設定と、セットアップを呼び出すことができます。

FSWでリンクアップさせることもできます。(P.47参照)

リンク設定の内容は、Store Link (ストアリンク) (P.45参照) で保存作業を行わないで電源を切ると消えてしまいます。

## 2) Store Link (ストアリンク)

リンク設定も、サウンドやセットアップと同様に保存(ストア)することができます。

### 操作 1

STOREボタンを押して点灯させます。

リンクモードに入っている時にSTOREボタンを押します。  
Store Link画面が表示されます。

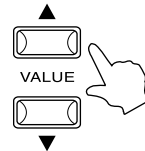


Store Link  
Press VALUE UP

### 操作 2

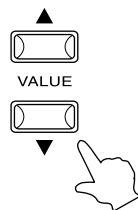
VALUE UPボタンを押します。

設定したセット番号に記憶しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。



Store Link  
Sure?

キャンセルする場合は、VALUE DOWNボタンを押します。



### 操作 3

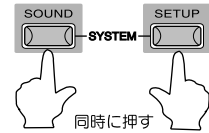
さらにVALUE UPボタンを押します。

指定したセット番号にパネル状態が記憶されました。

Store Link  
Completed!!

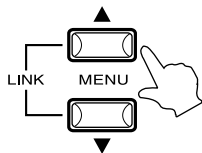
# 7. SYSTEM (システム)

システムのモードでは、本機の全体にかかわる基本設定を行います。  
SOUNDボタンとSETUPボタンを同時に押すとシステムモードへ入ります。



## 1) SYSTEM MENU (システムメニュー)

SOUND ボタンと SETUP ボタンが点灯中に MENU ボタンを押していくと、設定項目を選択することができます。



- SysTune
- Stretch
- System CH
- FSW CC#
- EXP CC#
- Tx Volume
- Touch
- LCD Contrast
- RCV ch Mute
- Local
- INT Tx

システムでの設定内容は、システムから抜けるときに自動的に保存されます。

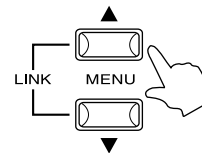
### 設定作業

ここでは、システムメニューでの各項目を設定する際の共通作業を説明します。

#### 操作 1

MENUボタンを押して設定項目の画面をディスプレイに表示させます。

SOUND/SETUP 両ボタンが点灯中に MENU ボタンを押します。

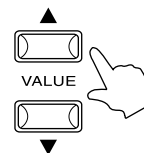


#### 操作 2

VALUEボタンで値を設定します。

値は各パラメーターによって範囲が異なります。

1つの設定を行ったら、MENU ボタンを押して他の項目の設定をつづけて行うことができます。



#### SysTune (システムチューニング)

[ 設定値 : 427.0 ~ 453.0 (Hz) ]

```
SYSTEM
SysTune = 440.
```

内部音源のチューニングを行います。

## Stretch (ストレッチ)

[ 設定値 : OFF, PNO\_ONLY ]

SYSTEM  
Stretch=PNO\_ONLY

MP9000 全体のチューニング曲線を平均率がストレッチに設定します。  
ストレッチを選択した時は、IU か IL でピアノ音色 (PIANO1,2,3,4,5) が選択されるとストレッチ曲線となります。

OFF : 平均率 (一切ストレッチ曲線にはなりません。)  
PNO\_ONLY : ピアノ音色が選択された時、ストレッチ曲線になります。  
レイヤー・スプリット等で2つの音色が選択されているような時は片方がピアノ音色であれば、もう片方のピアノ以外の音色もストレッチとなります。

ストレッチ曲線 : ピアノではより自然な響きを得る為、平均率に対して低音をより低く、高音はより高く調律されます。  
これをストレッチ曲線といいます。

## System CH (システム チャンネル)

[ 設定値 : 1 ~ 16 (CH) ]

SYSTEM  
System CH =

MIDI システムチャンネルを設定します。  
インターナル セクションの送信時 (INT Tx=ON) とシステムエクスクルーシブ受信時に使われます。  
エクスクルーシブが反映される MIDI チャンネルを設定します。

## FSW CC# (フットスイッチ コントロールチェンジ)

[ 設定値 : 0 ~ 114, LNK ]

SYSTEM  
FSW CC# = 1

リアパネルに接続した、フットスイッチのコントロールチェンジナンバーを指定します。  
「LNK」に設定すると、リンクモード時にフットスイッチを踏むことで、リンク No. を増やしていくことができます。

コントロールチェンジ番号については、P.58の表「4.Contoroll Change Number(CC#)table」を参照ください。

## EXP CC# (エクスプレッション コントロールチェンジ)

[ 設定値 : 0 ~ 114, AFT ]

SYSTEM  
EXP CC# =

リアパネルに接続した、エクスプレッションペダルのコントロールチェンジナンバーを指定します。  
「AFT」に設定するとエクスプレッションペダルによりアフタータッチ情報を送信します。

コントロールチェンジ番号については、  
P.58の表「4.Contoroll Change Number(CC#)table」を参照ください。

FSW CC#, EXP CC#で下記コントロールチェンジナンバーを設定したときに限り、  
外部への送信と同時に内部音源もコントロールします。

CC#	Function
1	Modulation Wheel
7	Volume
10	Pan
11	Expression Controller
64	Damper Pedal
66	Sostenuto
67	Soft Pedal

## Tx Volume (送信ボリューム)

[ 設定値 : ON, OFF ]

SYSTEM  
Tx Volume = ON

セットアップ変更した時、EUとELのボリューム設定をMIDI送信する(ON)か、しない(OFF)の設定です。  
ただし、フェーダー操作時は、この設定に関係なくMIDI OUTします。

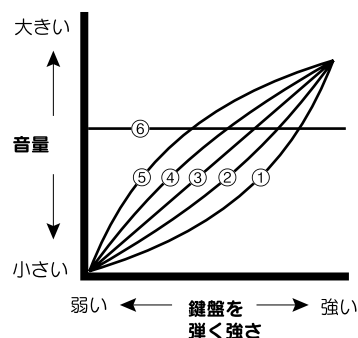
## Touch (タッチ)

[ 設定値 : Off/Light+/Light/Normal/Heavy/Heavy+ ]

SYSTEM  
Touch = Norma

鍵盤のタッチの強さを調節します。

- ・OFF (オフ) : タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
- ・HEAVY (ヘビー) : 強いタッチで弾くと大きな音が出ます。指の力の強い人や練習向けのタッチカーブです。
- ・LIGHT (ライト) : 弱いタッチで弾いても大きな音がでます。オルガンプレーヤー向けのタッチカーブです。
- ・NORMAL (ノーマル) : アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。



- ① Heavy+    ④ Light
- ② Heavy    ⑤ Light+
- ③ Normal   ⑥ Off

## LCD Contrast (LCD コントラスト)

[ 設定値 : 1 ~ 10 ]

SYSTEM  
LCD Contrast = 1

LCDのコントラスト(明るさ)を調節します。  
数値が大きい程、文字が鮮明になります。

## RCV ch Mute (受信チャンネル・ミュート)

[ 設定値 : PLAY/MUTE ]

SYSTEM  
RCV 1ch = Play    SYSTEM  
RCV 16ch = Mute

受信チャンネル      設定値

受信チャンネルのミュートのオン/オフを設定します。  
MENU ボタンを押して受信チャンネルを選び、VALUE ボタンでPLAY/MUTE (オン/オフ)を設定します。

## Local On/Off (ローカル オン/オフ)

SYSTEM  
Local = Off

本体の鍵盤を弾いて音を出すか (On) 出さないか (Off) を設定します。  
オフに設定した状態で電源を立ち上げると警告表示が出ます。

## INT Tx On/Off (ローカル オン/オフ)

SYSTEM  
INT Tx = On

オンに設定すれば、システムチャンネル (P.47 参照) に従ってインターナルセクションがMIDI送信します。  
セットアップ変更時、セットアップ番号がエクスクルーシブで送信されます。

Off から On に設定されたとき、下記を自動的に設定します。

- ・ Local=Off
- ・ System ch と System ch+1 の RCV ch Mute を =Play

On から Off に設定されたとき、下記を自動的に設定します。

- ・ Local=On
- ・ System ch と System ch+1 の RCV ch Mute を =Mute

# 8. その他

## MIDI IN

本機に内蔵されている音色を MIDI で接続した楽器を使って発音させる場合、本機のパネルの状態は関係しません。

### MIDIチャンネルについて

本機は通常 16ch のマルチ音源として機能します。(各 ch 毎にミュート設定可能)  
また、システムエクスクルーシブは、System CH で受信されます。

音色を変更する場合は、接続した MIDI 楽器の方でプログラム No. を送信します。  
本機の内蔵されている音色と対応するプログラム No. は、下記の通りです。

プログラムNo.	音色名
1,17-127	Concert Grand
2	Studio Grand
3	Mellow Grand
4	Modern Piano
5	Rock Piano
6	E.Piano1
7	E.Piano2
8	E.Piano3
9	Organ 1
10	Organ2
11	Clavi
12	Vibraphone
13	Strings
14	Choir
15	Bass1
16	Bass2

## 音色

パネル表示	LCD表示	ポリ	パネル表示	LCD表示	ポリ
PIANO1	Concert Grand	30	ORGAN1	Organ1	64
PIANO2	Studio Grand	30	ORGAN2	Organ2	64
PIANO3	Mellow Grand	30	CLAVI	Clavi	32
PIANO4	Modern Piano	64	VIBE	Vibraphone	32
PIANO5	Rock Piano	64	STRINGS	Strings	32
E.PIANO1	E.Piano1	32	CHOIR	Choir	32
E.PIANO2	E.Piano2	32	BASS1	Bass1	32
E.PIANO3	E.Piano3	32	BASS2	Bass2	32

## 主な仕様

<b>鍵盤</b>	88鍵（木製、AWAグランド鍵盤スーパー、ペロシティー付き）
<b>セクション数</b>	インターナル：2 / エクスターナル：2
<b>音色</b>	16音色
<b>同時発音数</b>	最大64音
<b>エフェクト</b>	リバーブ [ REV HALL 1,2/REV STAGE 1,2/REV ROOM 1,2/REV PLATE ]（7種類）、エフェクト [ CHORUS 1,2,3/FLANGER1,2/ENSEMBLE/CELESTE/DELAY1,2/AUTO PAN/TREMOLO/PHASER1,2/ROTARY1,2/AUTO WAH/EXCITER/ENHANCER/OVERDRIVE/DISTORTION/SYMPATHETIC RESONANCE ]（21種類）、4バンドイコライザー
<b>インターナルメモリー</b>	セットアップ：64/サウンド：16
<b>ディスプレイ</b>	16桁2行（バック照明付き）
<b>規定出力レベル</b>	出力端子（フィックスド出力）：-6dBm
<b>出力インピーダンス</b>	出力端子（ノーマル出力）：0dBm
<b>推奨負荷インピーダンス</b>	出力端子（フィックスド出力）：600 出力端子（ノーマル出力）：1K
<b>接続端子</b>	出力端子（フィックスド出力）：600 以上 出力端子（ノーマル出力）：10K 以上 出力端子（フィックスド出力）：キャノン型バランス出力 出力端子（ノーマル出力）：1/4inch ノーマル型 ヘッドホン端子（ステレオ） MIDI端子：IN,OUT,THRU ダンパー/ソフトペダルジャック：F-2用 FSWジャック：フットSW F-1用 EXPジャック：エクスペッションペダル V-20X用
<b>電源</b>	ACインレット
<b>消費電力</b>	AC100V（50/60Hz）
<b>寸法/重量</b>	15W
<b>付属品</b>	[ W×D×H ] 1466×442×189（mm） / 34（Kg） 電源コード、ダンパー/ソフトペダル（F-2）、取扱説明書

# MIDI DATA FORMAT

MP9000 MIDI Implementation  
Version 1.0 98Aug25

## Contents

1. Recognized data
  - 1.1 Channel Voice Message
  - 1.2 Channel Mode Message
  - 1.3 System Real time Message
2. Transmitted data
  - 2.1 Channel Voice Message
  - 2.2 Channel Mode Message
  - 2.3 System Real time Message
3. Exclusive data
  - 3.1 Sys-EX Format
  - 3.2 Data Format
4. CC# table

## MIDI implementation

### 1. Recognized Data

#### 1.1 Channel Voice message

##### Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 - 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 - 127)

##### Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 - 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 - 127)

##### Control Change

###### Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Modulation depth		:00H - 7fH(0 - 127)      Default = 00H

###### Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN, see RPN/NRPN chapter		:00H - 7fH(0 - 127)

###### Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Volume		:00H - 7fH(0 - 127)      Default = 7fH

###### Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Panpot		:00H - 40H - 7fH(left - Center - right)      Default = 40H(center)

<b>Expression</b>			
Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	0bH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv = Expression		:00H - 7fH(0 - 127)	Default = 7fH
<b>Damper Pedal</b>			
Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	40H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 - 127)	Default = 00H
		0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON	
<b>Soft Pedal</b>			
Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	43H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 - 127)	Default = 00H
		0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON	
<b>Sound controllers #3-6</b>			
Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	48H	vvH	Release time
BnH	49H	vvH	Attack time
BnH	4aH	vvH	Cutoff
BnH	4bH	vvH	Decay time
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 - 127)	Default = 40H
<b>Common Effect</b>			
Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	5bH	vvH	Reverb depth
BnH	5cH	vvH	Rotary speaker speed(0-63:Slow,64-127:Fast)
			Only when rotary speaker selected
BnH	5dH	vvH	Effect depth
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 - 127)	
<b>NRPN MSB/LSB</b>			
Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	63H	mmH	
BnH	62H	llH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
mm=MSB of the NRPN parameter number			
ll=LSB of the NRPN parameter number			
NRPN numbers implemented in MP9000 are as follows			
NRPN #	Data	Function & Range	
MSB LSB	MSB		
01H 20H	mmH	Cutoff offset	mm:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)
01H 63H	mmH	Attack time offset	mm:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)
01H 64H	mmH	Decay time offset	mm:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)
01H 66H	mmH	Release time offset	mm:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)

\* Ignoring the LSB of data Entry

\* It is not affected in case of modifying cutoff if tone does not use the dcf.

## RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
mm=MSB of the RPN parameter number  
ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in K5000 series are the followings

RPN #	Data	MSB	Function & Range	Default
00H 00H	mmH	mmH	Pitch bend sensitivity mm:00H - 07H(0 - 7 half tone) ll:Ignored(as 00H)	Default = 02H
00H 01H	mmH	mmH	Master fine tuning mm,ll:00 00H - 40 00H - 7f 7f (-8192x100/8192 - 0 +8192x100/8192 cent)	
00H 02H	mmH	mmH	Master coarse tuning mm:28H - 40H - 58H(-24 - 0 - +24 half tone) ll:Ignored(as 00H)	
7fH 7fH--			RPN NULL	

## Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
pp=Program number :00H - 0fH(Prog#1 - prog#16) :10H - 7fH(prog#1) Default = 00H

## Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
mm,ll=Pitch bend value :00 00 - 7f 7fH(-8192 - 0 - +8192) Default = 40 00H(center)

## 1.2 Channel Mode Message

### All Sound OFF

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	78H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)

### All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)

## 1.3 System Real time Message

### Active sensing

Status
FEH

## 2.Transmitted Data

### 2.1 Channel Voice message

#### Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
kk=Note Number :00H - 7fH(0 - 127)

#### Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
kk=Note Number :00H - 7fH(0 - 127)  
vv=Velocity :00H - 7fH(0 - 127)

## Control Change

### Bank Select

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm=Bank Number MSB		:00H - 7fH(0 - 127)
ll=Bank Number LSB		:00H - 7fH(0 - 127)

### Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Modulation depth		:00H - 7fH(0 - 127)

### Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN, see RPN/NRPN chapter		:00H - 7fH(0 - 127)

### Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Volume		:00H - 7fH(0 - 127)
		Default = 7fH

### Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Panpot		:00H - 7fH(0 - 127)
		Default = 40H

### Expression

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0bH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Expression		:00H - 7fH(0 - 127)
		Default = 7fH

### Damper Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	40H	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 - 127)
		0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON
		Default = 00H

### Soft Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	43H	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 - 127)
		0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON
		Default = 00H

### Sound controllers #3-6

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	48H	vvH Release time
BnH	49H	vvH Attack time
BnH	4aH	vvH Cutoff
BnH	4bH	vvH Decay time
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Control Value	vv:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)	Default = 40H

### Common Effect

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	5bH	vvH Reverb depth
BnH	5cH	vvH Rotary speaker speed(0-63:Slow,64-127:Fast)
		Only when rotary speaker selected
BnH	5dH	vvH Effect2 depth
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 - 127)

#### NRPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	63H	mmH
BnH	62H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
 mm=MSB of the NRPN parameter number  
 ll=LSB of the NRPN parameter number

#### RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1-ch.16)  
 mm=MSB of the RPN parameter number  
 ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in MP9000 are the followings

RPN #	Date	Function & Range	
MSB LSB	MSB	Pitch bend sensitivity	
00H 00H	mmH	mm:00H-0cH(0-12 half tone)	Default=02H
		ll:Ignored(as 00H)	

7fH 7fH - - RPN NULL

#### Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
 pp=Program number :00H - 7fH Default = 00H

#### After Touch

Status	2nd Byte
DnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
 pp=Value :00H - 7fH Default = 00H  
 \*Sending only when EXP CC#=AFT

#### Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)  
 mm,ll=Pitch bend value :00 00 - 7f 7fH(-8192 - 0 - +8192) Default = 40 00H(center)

### 2.2 Channel Mode Message

### 2.3 System Real time Message

Active sensing  
 Status  
 FEH

### 3. Exclusive data

MP9000 can receive these dump data, and also can transmit one by panel operation in Store.

#### 3.1 Sys-EX FORMAT

##### a: Dump CURRENT

Format :F0 40 <ch> 20 00 0B <DATA> F7  
 <ch> :MIDI ch (00 0F)  
 <DATA> :Setup (Sound) data in edit buffer

The structure of the one setup (Sound) patch  
 (common DATA) + (INT Lower Section DATA) + (INT Upper Section DATA)  
 + (EXT Lower Section DATA) + (EXT Upper Section DATA) + (Only\_for\_Sound DATA)

##### b: Dump ALL (Setup 1-64)

Format :F0 40 <ch> 21 00 0B <DATA> F7  
 <ch> :MIDI ch (00 0F)  
 <DATA> :All Setup 1 64 + Sound

Setup1-1  
 Setup1-2  
 Setup1-3

Setup8-7  
 Setup8-8  
 Sound

The structure of the one setup(Sound) patch  
 (common DATA) + (INT Lower Section DATA) + (INT Upper Section DATA)  
 + (EXT Lower Section DATA) + (EXT Upper Section DATA) + (Only\_for\_Sound DATA)

##### c : Set Up Change

Format : F0 40 <ch> 30 00 0B <DATA> F7  
 <ch> : MIDI ch (00 ~ 0F)  
 <DATA> : Setup program no.  
 0 ~ 63 : Setup1-1 ~ Setup 8-8  
 64 : Sound

#### 3.2 Data Format

The structure of 1Setup(Sound) Patch  
 (common DATA) + (INT Lower Section DATA) + (INT Upper Section DATA)  
 + (EXT Lower Section DATA) + (EXT Upper Section DATA) + (Only\_for\_Sound DATA)

##### 3.2.1 COMMON DATA

No.		VALUE
1	part_sel	0-3 (il,iu,el,eu)
2	transpose_sw	0,1 (off,on)
3	transpose_value	52 64 76(-12 0 +12)
4	split_sw	0,1 (off,on)
5	split_point	15 108(a0 c8)
6	knob_mode	0-3(Effect,EQ,tone,CC#)
7	eq1	58 64 70(-6 0 +6)
8	eq2	58 64 70(-6 0 +6)
9	eq3	58 64 70(-6 0 +6)
10	eq4	58 64 70(-6 0 +6)
11	efx_type	0 20
12	efx_rate	0 127
13	rev_type	0 6
14	rev_rate	0 127
15	Name 1st	ASCII
16	Name 2nd	ASCII
17	Name 3rd	ASCII
18	Name 4th	ASCII
19	Name 5th	ASCII
20	Name 6th	ASCII
21	Name 7th	ASCII
22	Name 8th	ASCII

### 3.2.2 SECTION DATA INT Lower/Upper

No.	PARAMETER	VALUE
1	tone_no	0 15
2	zone_lo	15 108(a0 c8)
3	zone_hi	15 108(a0 c8)
4	velo_sw_type	0 2(off,loud,soft)
5	velo_sw_value	0 127
6	velo_sense	1 64 127(-63 0 +63)
7	transpose	40 64 88(-24 0 +24)
8	part_sw	0,1 (off,on)
9	effect_sw	0,1 (off,on)
10	reverb_sw	0,1 (off,on)
11	damper_sw	0,1 (off,on)
12	FSW_sw	0,1 (off,on)
13	EXP_sw	0,1 (off,on)
14	modwheel_sw	0,1 (off,on)
15	bender_sw	0,1 (off,on)
16	level	0 127
17	panpot	1 64 127(L63 0 R63)
18	coarsetune	40 64 88(-24 0 +24)
19	finetune	1 64 127(-63 0 +63)
20	rev_send	0 127
21	efx_send	0 127
22	bend_range	0 7
23	cutoff	14 64 114(-50 0 +50)
24	attack	14 64 114(-50 0 +50)
25	decay	14 64 114(-50 0 +50)
26	release	14 64 114(-50 0 +50)
27	voicing	0 3(Normal,Mellow,Dynamic,Bright)

### 3.2.3 SECTION DATA EXT Lower/Upper

No.	PARAMETER	VALUE
1	zone_lo	15 108(a0 c8)
2	zone_hi	15 108(a0 c8)
3	velo_sw_type	0 2(off,loud,soft)
4	velo_sw_value	0 127
5	velo_sense	1 64 127(-63 0 +63)
6	transpose	40 64 88(-24 0 +24)
7	part_sw	0,1 (off,on)
8	damper_sw	0,1 (off,on)
9	FSW_sw	0,1 (off,on)
10	EXP_sw	0,1 (off,on)
11	modwheel_sw	0,1 (off,on)
12	bender_sw	0,1 (off,on)
13	tx_ch	0 15(1 16ch)
14	tx_prog_sw	0,1 (off,on)
15	tx_prog_no	0 127(1 128)
16	tx_level	0 127
17	tx_bank_sw	0,1 (off,on)
18	tx_bank_lo	0 127
19	tx_bank_hi	0 127
20	tx_knobA_sw	0,1 (off,on)
21	tx_knobA_no	0 114
22	tx_knobA_value	0 127
23	tx_knobB_sw	0,1 (off,on)
24	tx_knobB_no	0 114
25	tx_knobB_value	0 127
26	tx_knobC_sw	0,1 (off,on)
27	tx_knobC_no	0 114
28	tx_knobC_value	0 127
29	tx_knobD_sw	0,1 (off,on)
30	tx_knobD_no	0 114
31	tx_knobD_value	0 127
32	panpot	1 64 127(L63 0 R63)
33	coarsetune	40 64 88(-24 0 +24)
34	finetune	1 64 127(-63 0 +63)
35	rev_send	0 127
36	efx_send	0 127
37	bend_range	0 12
38	cutoff	14 64 114(-50 0 +50)
39	attack	14 64 114(-50 0 +50)
40	decay	14 64 114(-50 0 +50)
41	release	14 64 114(-50 0 +50)
42	solo_sw	0,1 (off,on)
43	solo_mode;	0,1,2(last,hi,lo)
44	tx_pan_sw;	0,1 (off,on)
45	tx_coarse_sw;	0,1 (off,on)
46	tx_fine_sw;	0,1 (off,on)
47	tx_bendrange_sw;	0,1 (off,on)
48	tx_cutoff_sw;	0,1 (off,on)
49	tx_attack_sw;	0,1 (off,on)
50	tx_decay_sw;	0,1 (off,on)
51	tx_release_sw;	0,1 (off,on)

### 3.2.4 Only\_for\_Sound DATA

No.	VALUE	
1 16	cutoff	14 64 114(-50 0 +50) for tone1 16
17 32	attack	14 64 114(-50 0 +50) for tone1 16
33 48	decay	14 64 114(-50 0 +50) for tone1 16
49 64	release	14 64 114(-50 0 +50) for tone1 16
65 80	efx_type	0 20 for tone1 16
81 96	efx_rate	0 127 for tone1 16
97 112	effect_sw_l	0,1 (off,on) for tone1 16
113 128	efx_send_l	0 127 for tone1 16
129 144	effect_sw_u	0,1 (off,on) for tone1 16
145 160	efx_send_u	0 127 for tone1 16
161 176	rev_type	0 6 for tone1 16
177 192	rev_rate	0 127 for tone1 16
193 208	reverb_sw_l	0,1 (off,on) for tone1 16
209 224	rev_send_l	0 127 for tone1 16
225 240	reverb_sw_u	0,1 (off,on) for tone1 16
241 256	rev_send_u	0 127 for tone1 16
257 272	voicing	0 3(Normal,Mellow,Dynamic,Bright) for tone1 16

### 4. Contoroll Change Number(CC#) table

CNTOROL NUMBER		CONTROL FUNCTION
Decimal	Hex	
0	0	Bank Select
1	1	Modulation wheel or lever
2	2	Breath Controller
3	3	Undefined
4	4	Foot controller
5	5	Poramento time
6	6	Data entry MSB
7	7	Channel Volume
8	8	Balance
9	9	Undefined
10	A	Pan
11	B	Expression Controller
12	C	Effect Control 1
13	D	Effect Control 2
14	E	Undefined
15	F	Undefined
16	10	General Purpose Controller 1
17	11	General Purpose Controller 2
18	12	General Purpose Controller 3
19	13	General Purpose Controller 4
20-31	14-1F	Undefined
32-63	20-3F	LSB for value 0-31
64	40	Damper pedal(Sustain)
65	41	Portamento on/off
66	42	Sostenuto
67	43	Soft pedal
68	44	Legato Footswitch
69	45	hold2(freez etc)
70	46	sound controller1(sound vari)
71	47	sound controller2(resonance)
72	48	sound controller3(release)
73	49	sound controller4(attack)
74	4A	sound controller5(cutoff)
75	4B	sound controller6(decay)
76	4C	sound controller7(vibrato rate)
77	4D	sound controller8(vibrato depth)
78	4E	sound controller9(vibrato delay)
79	4F	sound controller10(undefined )
80	50	General Purpose Controller 5
81	51	General Purpose Controller 6
82	52	General Purpose Controller 7
83	53	General Purpose Controller 8
84	54	Portamento control
85-90	55-5A	Undefined
91	5B	Effect1 depth (Reverb send level)
92	5C	Effect2 depth
93	5D	Effect3 depth (Chorus send level)
94	5E	Effect4 depth
95	5F	Effect5 depth
96	60	Data increment
97	61	Data decrement
98	62	NRPN LSB
99	63	NRPN MSB
100	64	RPN LSB
101	65	RPN MSB
102-119	66-77	Undefined
120-127	78-7F	Reserved for Channel Mode Message



# KAWAI

株式会社 河合楽器製作所

電子楽器事業本部

〒430-8665 浜松市寺島町200番地  
TEL.<053>457-1277 / FAX.<053>457-1279  
<http://www.kawai.co.jp>